

米先物取引に関する シーズンレポート（Vol. 1）

（令和6年8月～令和6年11月）



堂島米市の図（浪花名所図会）歌川広重（寛政9年（1797）～安政5年（1858））画
大阪府立中之島図書館所蔵

令和6年12月

農林水産省

【本資料の目的】

「米先物取引に関するシーズンレポート」は、米先物取引について、その価格や取引量の動向、その他関連する情報を収集・整理し、これを原則として3か月ごとに公表することによって、米先物取引に関する各種情報の提供を行うことを目的としております。

今期のレポートは、令和6年8月から令和6年11月までを主な対象としております。

なお、本レポートは、情報提供を目的としたもので、商品先物取引その他の取引の推奨、助言等を目的としたものではありません。

※表紙：堂島米市の図（浪花名所図会）歌川広重（寛政9年（1797）～安政5年（1858））画
大阪府立中之島図書館所蔵
正規の取引時間を超えて取引を続けようとする者に水を撒いている場面

利用上の注意

1 取引データの作成

「米先物取引に関するシーズンレポート」は、特に記載がない限り、堂島取引所・大阪取引所における日々の取引データから得られた情報をもとに農林水産省において作成したものです。

本レポートは将来の市場環境の変動、運用成果等を約束又は予想するものではなく、本レポートに記載された情報の使用又は使用不能により生じた結果については、当省は一切の責任を負いかねます。

2 本レポートの引用について

本レポートの引用等を行う場合は、出所を明記してください。

3 米先物取引の商品設計（堂島取引所）

取引の種類	指数先物取引
取引の対象	将来における主食用米の平均価格（※） （※） 農林水産省が毎月公表する「米の相対取引価格・数量」における全銘柄についての価格を前年産検査数量で加重平均した値を基に、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構が毎月公表する「DI 調査」から推計して算出した数値（1 円の位を四捨五入）
取引単位 （倍率）	3 トン／枚（約定数値に 50 を乗じた値）
立会日・ 立会時間	毎営業日・午前 8 時 45 分～午後 3 時 45 分
取引開始日	奇数月の第 1 営業日
取引期限	取引開始日の属する月から起算した 12 か月以内の各偶数月 （2 月限、4 月限、6 月限、8 月限、10 月限、12 月限）
取引最終日	当月限の最終営業日の前営業日
最終決済日	当月限の最終営業日
最終決済数値	当月限の最終決済日に公表する主食用米の平均価格

4 建玉制限

堂島取引所において、以下のとおり一般投資家一人当たりの取引数量（建玉数）を制限。

【米穀指数】

- 1 番限（取引最終月） 200 枚
- 1 番限（取引最終前月） 350 枚
- 2 番限 500 枚
- 3 番限 1,000 枚
- 4 番限～6 番限 2,000 枚

注：1 上記は一般投資家の売り又は買いのそれぞれの建玉上限。当業者、商品先物取引業者等については制限を緩和。

- 2 1 番限とは各限月のうち最も決済期限に近いもの。それ以降の限月を 2 番限、3 番限という。例えば令和 7 年 1 月 6 日時点の米穀指数を例にとると、1 番限は R7 年 2 月限、2 番限は 4 月限、3 番限は 6 月限、4 番限は 8 月限、5 番限は 10 月限、6 番限は 12 月限。

5 用語の解説

先物取引（さきものとりひき）	将来の一定の時期において、商品及びその対価の授受を約する売買取引であって、当該商品の現物の受渡し若しくは建玉の転売又は買い戻しによる差金の授受によって終了することのできる取引のこと。
限月（げんげつ）	先物取引において売買約定（やくじょう）を最終的に決済しなければならない月のこと。
月限（がつぎり）※	最終決済月が〇月であれば、〇月限と呼ぶ。例：2 月限（にがつぎり）
期先（きさき）※	先物取引において、現時点で決済期限を最も後に迎える限月のことをいう。
期近（きちか）※	先物取引において、現時点で決済期限を最も早くに迎える限月のことをいう。
始値（はじまりね）※	一日の最初の約定値段のこと。
高値（たかね）※	相場が高いこと。またはある期間内の一番高い価格のこと。
安値（やすね）※	相場が安いこと。またはある期間内の一番安い価格のこと。
終値（おわりね）※	一日の最終約定値段のこと。
約定（やくじょう）	市場で成立した売買契約のこと。
枚（まい）	取引所における取引の基本となる取引数量または受渡数量を表す最小取引単位の呼称のこと。
出来高（できだか）	市場において成立した売買約定数量のこと。
建玉（たてぎょく）	取引所において売買取引された売買約定によるもので、決済未了のもの。
取組（とりくみ）	売りと買いとが取り組むということから、成立した建玉を取組といい、この売買契約の数量を「取組高」という。
帳入数値（ちょういれすうち）※	各取引日において損益計算をする際の基準となる価格のこと。
数値幅制限（すうちはばせいげん）※	値動きが一定幅に達した場合に、その上限を超える又は下限を下回る価格で取引を成立させない仕組み。米穀指数市場では通常、前営業日の帳入数値の±2%（帳入数値が制限数値幅に達した限月が2以上ある場合は、±0.5%ずつ拡大し、最大で±3%以内。）。
当業者（とうぎょうしゃ）	上場商品の売買、売買の媒介、取り次ぎ、生産加工等を業としている関連業者の総称をいう。
商品先物取引法※（しょうひんさきものとりひきほう）	商品先物取引に関する法律。同法に基づき、商品取引所、商品取引清算機関、商品先物取引業者、商品先物取引協会（商品先物取引業者の自主規制組織）等に関する許認可・監督等を行っている。

出典：全国商品取引所連合会（2006）『商品先物取引用語集』（※については、農林水産省が作成。）

目 次

1 直近4ヶ月の米穀指数先物取引の動向

【概況】	1
(1) 取引価格の動向	
ア 限月別取引価格（毎日の値動き）	2
イ 限月別取引価格（取引開始日からの値動き）	3
ウ 限月別取引価格（毎日の高値・安値の動き）	4
エ 取引開始日の始値、取引最終日の終値及び数値幅制限の発動状況	5
(2) 出来高の動向	
ア 毎日の出来高	6
イ 4ヵ月間の平均・最高・最低・合計出来高	6
ウ 取引開始日からの出来高の平均・最高・最低	7
(3) 取組高の動向	
ア 毎日の取組高	8
イ 4ヵ月間の月末・最高・最低取組高	8
ウ 限月別取組高	9
(4) 取引参加者の構成	
ア 当業者・非当業者の割合	10
イ 自己取引・委託取引の割合	12
ウ 建玉報告対象者の割合	12
(5) 直近4ヶ月のデータ	
ア 毎日の価格（終値）	13
イ 毎日の出来高	15

2 関連情報

(1) 米の関連情報	
ア 米の取引価格及び数量	17
イ 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和6年11月分）	20
ウ 事前契約（播種前契約）の取組状況	25
エ 米の販売・消費動向	27
オ 米の民間在庫情報	34
カ 主食用米等の需給見通し（米の基本指針（令和6年10月30日））	38
キ 令和6年産水陸稲の収穫量	41
(2) とうもろこし及び金の関連情報（大阪取引所）	
ア 取引価格	50
イ 出来高	51
ウ 取組高	53

3 参考資料

(1) 現物市場と先物市場（堂島取引所）との連携について	54
(2) 米先物取引に係るこれまでの主な経過	55

1 直近4ヶ月の米穀指数先 物取引の動向

【R6. 8. 13～R6. 11. 30】

概 況

(令和6年8月～11 月)

【価格】

- ・ 9月当初に 24,740 円を記録。その後下落するも反発し、11 月末に再び 24,000 円台まで上昇。

8月13日の取引開始（初値 17,200 円）以降、一貫して上昇し、9月4日には期間中最高値となる 24,740 円（4月限）を記録。

その後、下落傾向が続くも、9月下旬から反発に転じ、11 月末まで上昇傾向で推移。

期間中、最後の取引日（11 月 29 日）における各限月の終値は、2月限：24,350 円、4月限：24,250 円、6月限：24,120 円、8月限：24,000 円、10月限の 11 月 28 日の終値は、23,300 円（11 月 29 日は取引成立しなかった）。

【出来高】

- ・ 9月に月間合計 244 枚を記録するも、10 月及び 11 月は 100 枚未満。期間中の一日当たり平均出来高は、7 枚。

9月は、同4日に一日当たりの最高出来高 56 枚を記録するなど、合計で 244 枚成約。10 月及び 11 月は 100 枚を下回り、一日当たりの出来高も 20 枚を超える日は無し。

期間中の合計出来高は 508 枚（8月：111 枚、9月：244 枚、10 月：70 枚、11 月：83 枚）。限月ごとの内訳は、2月限：203 枚、4月限：115 枚、6月限：108 枚、8月限：68 枚、10月限：14 枚。

期間中の一日当たりの平均出来高は 7 枚にとどまった。

(1) 取引価格の動向

ア 限月別取引価格（毎日の値動き）

図 毎日の値動き（米穀指数）

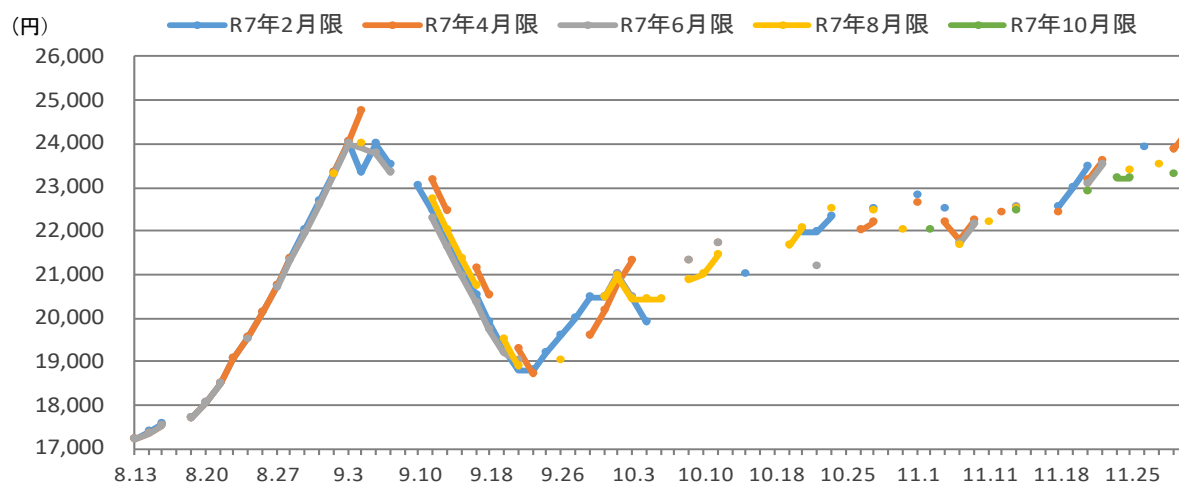


表 4ヵ月間の平均・最高・最低価格（米穀指数）

	平 均	最 高		最 低	
		年 月 日	価 格	年 月 日	価 格
R6年8月～R6年11月	(円)		(円)		(円)
	21,235	R6年9月4日	24,760	R6年8月13日	17,200
8月	19,478	R6年8月30日	22,660	R6年8月13日	17,200
9月	21,456	R6年9月4日	24,760	R6年9月24日	18,730
10月	21,161	R6年10月24日	22,500	R6年10月4日	19,880
11月	22,997	R6年11月29日	24,350	R6年11月7日	21,650

注：1 図は令和6年8月13日から令和6年11月29日の間に取引が行われた各限月（げんげつ）の毎日の価格の終値の推移を表している。
 2 表は上記期間における全ての限月の平均・最高・最低の価格を表している。なお、同一価格が複数あった場合は最初の日付を掲載。
 3 価格は玄米 60kg 当たり。

イ 限月別取引価格（取引開始日からの値動き）

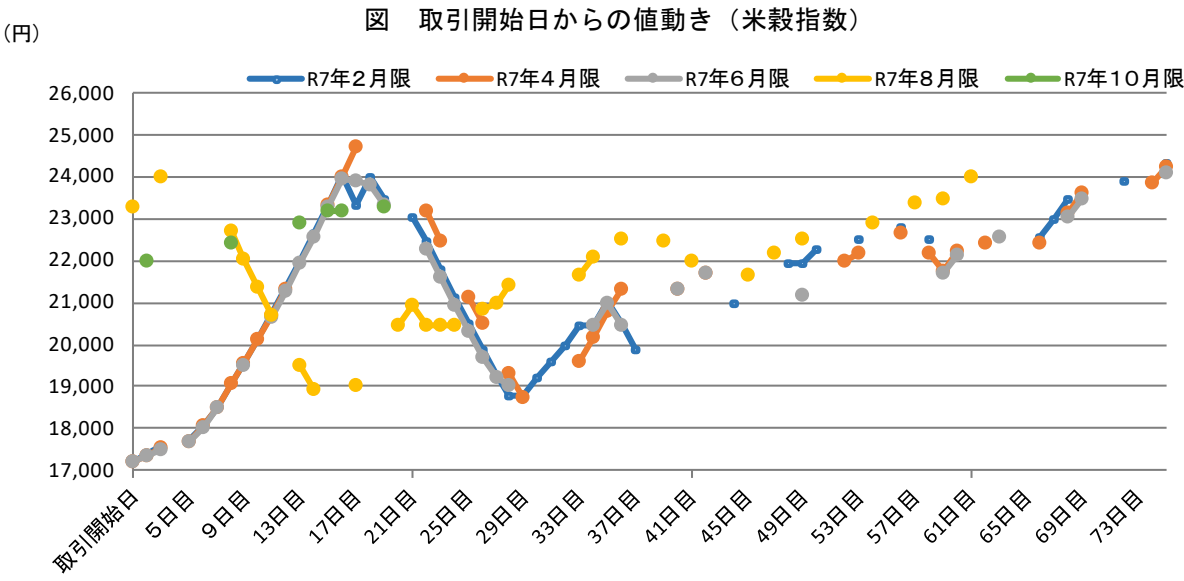
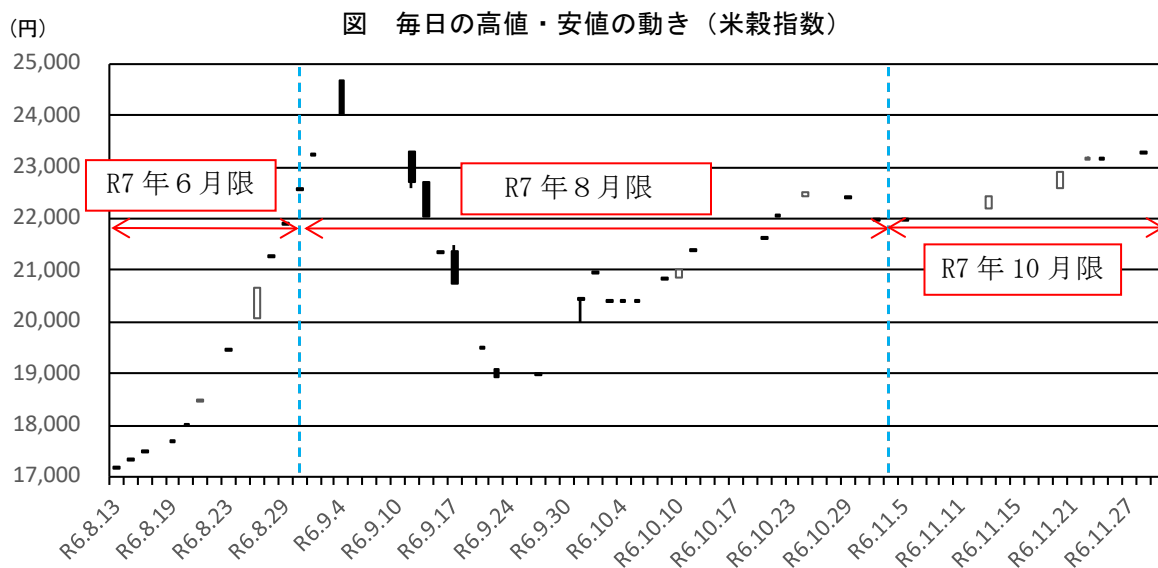


表 取引開始日からの平均・最高・最低（米穀指数）

限 月	営業 日数	平 均	最 高		最 低		11月末現在
			価 格	年 月 日	価 格	年 月 日	
R7年2月限	(日) 75	(円) 21,076	(円) 24,760	R6年9月4日	(円) 17,200	R6年8月13日	取引中
R7年4月限	75	20,912	24,740	R6年9月4日	17,200	R6年8月13日	取引中
R7年6月限	75	21,626	24,690	R6年9月4日	17,200	R6年8月13日	取引中
R7年8月限	61	21,293	24,690	R6年9月4日	18,910	R6年9月20日	取引中
R7年10月限	20	22,901	23,300	R6年11月28日	22,000	R6年11月5日	取引中

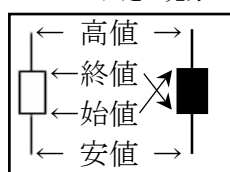
注：1 図は令和6年8月13日から令和6年11月29日の間に取引が行われた各限月（げんげつ）の価格の終値を表している。
 2 表は上記期間における各限月の平均・最高・最低の価格を表している。同一価格が複数あった場合は最初の日付を記載。

ウ 限月別取引価格（毎日の高値・安値の動き）



注：最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月（期先限月）の1日の始値、高値、安値、終値の推移を表している（新たな期先限月の取引開始後は当該限月の価格に切替え。）。

ローソク足の見方



※ 終値が始値より高い場合、白抜き。
終値が始値より低い場合、黒塗り。

エ 取引開始日の始値、取引最終日の終値及び数値幅制限の発動状況

表 1 取引開始日の始値、取引最終日の終値（米穀指数）

限 月	産年	取 引 開 始 日		取 引 最 終 日		11 月 末 現 在	
			年 月 日		年 月 日		年 月 日
	(年)	(円)		(円)		(円)	
R7年2月限	6	17,200	R6年8月13日	取引中		24,350	R6年11月29日
R7年4月限	6	17,200	R6年8月13日	取引中		24,250	R6年11月29日
R7年6月限	6	17,200	R6年8月13日	取引中		24,120	R6年11月29日
R7年8月限	6	23,270	R6年9月2日	取引中		24,000	R6年11月29日
R7年10月限	7	22,000	R6年11月5日	取引中		23,300	R6年11月28日

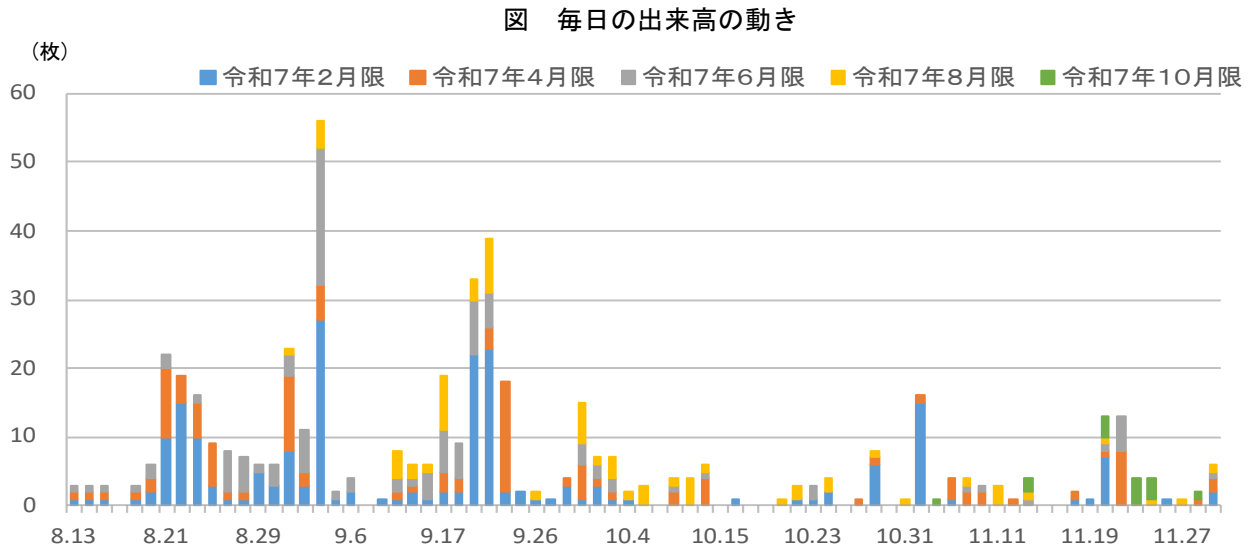
表 2 数値幅制限の発動状況（米穀指数）

限 月	8 月 ～ 11 月			8 月			9 月			10 月			11 月		
	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安
	(日)	(回)	(回)	(日)	(回)	(回)	(日)	(回)	(回)	(日)	(回)	(回)	(日)	(回)	(回)
R7年2月限	75	16	11	14	8	-	19	5	9	22	1	2	20	2	-
R7年4月限	75	16	6	14	6	-	19	4	5	22	3	-	20	3	1
R7年6月限	75	12	9	14	6	-	19	2	7	22	1	2	20	3	-
R7年8月限	61	7	7	-	-	-	19	1	5	22	4	2	20	2	-
R7年10月限	20	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	2	-

- 注：1 取引開始日に取引が成立しなかった場合は、最初取引が成立した日の始値を取引開始日の始値とする。
 2 取引最終日に取引が成立しなかった場合は、最後取引が成立した日の終値を取引最終日の終値とする。
 3 11月末現在は当該月の最終営業日の終値（当該月の最終営業日に取引が成立しなかった場合は最後に取引が成立した日の終値。）。

(2) 出来高の動向

ア 毎日の出来高



イ 4ヵ月間の平均・最高・最低・合計出来高

表 1-1 4ヵ月間の平均・最高・最低・合計出来高（米穀指数）

単位：枚

	8月～11月			
	平均	最高	最低	合計
米穀指数	7	56	0	508

表 1-2 各月の平均・最高・最低・合計出来高（米穀指数）

単位：枚

	8月				9月				10月				11月			
	平均	最高	最低	合計	平均	最高	最低	合計	平均	最高	最低	合計	平均	最高	最低	合計
米穀指数	8	22	0	111	13	56	0	244	3	15	0	70	4	16	0	83

- 注：1 出来高とは市場において成立した売買契約の数（売りと買いセットで1枚とカウント）。
 2 出来高1枚当たりの取引単位は3t（玄米）。
 3 図は令和6年8月13日から令和6年11月29日までの毎日の出来高の合計。
 4 表はそれぞれの期間ごとに1日の出来高の平均、最高及び最低を表している。

ウ 取引開始日からの出来高の平均・最高・最低

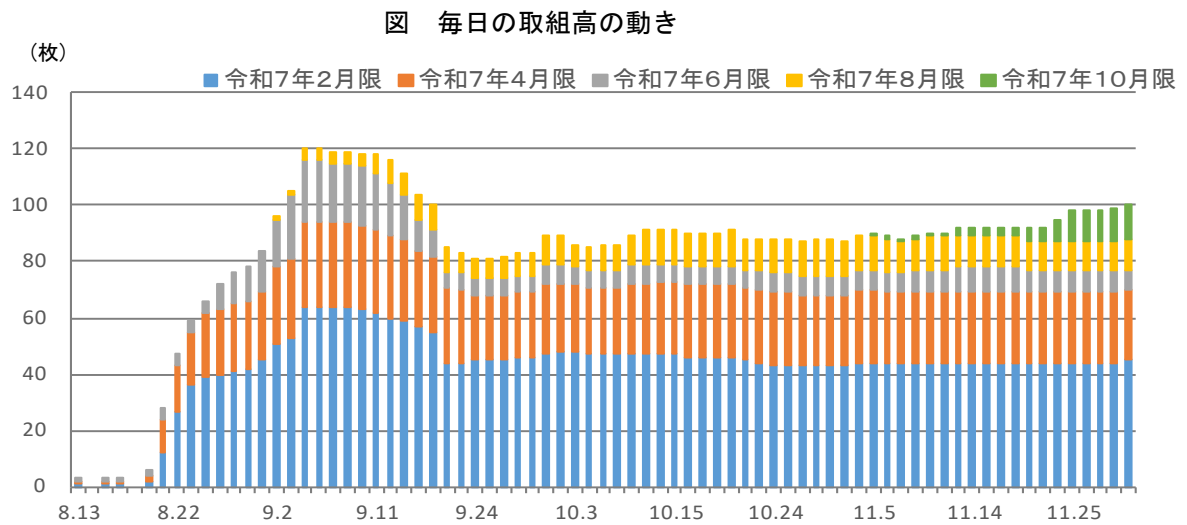
表 取引開始日からの出来高の平均・最高・最低（米穀指数）

限 月	営業 日数	平 均	最 高		最 低		11 月 末 現 在
				年 月 日		年 月 日	
	(日)	(枚)	(枚)		(枚)		
R7年2月限	75	3	27	R6年9月4日	0	R6年8月16日	取引中
R7年4月限	75	2	16	R6年9月24日	0	R6年8月16日	取引中
R7年6月限	75	1	20	R6年9月4日	0	R6年8月16日	取引中
R7年8月限	61	1	8	R6年9月17日	0	R6年9月3日	取引中
R7年10月限	20	1	4	R6年11月22日	0	R6年11月1日	取引中

注： 表は令和6年8月13日から令和6年11月29日までに取引が行われた全ての限月について、それぞれの限月の取引開始日から令和6年11月29日までの平均・最高・最低の1日当たりの出来高を表している。なお、同一枚数が複数日あった場合は最初の日付を掲載。

(3) 取組高の動向

ア 毎日の取組高



イ 4ヵ月間の月末・最高・最低取組高

表 4ヵ月間の月末・最高・最低取組高（米穀指数）

単位：枚

	8月～11月		8月			9月			10月			11月		
	最高	最低	末値	最高	最低	末値	最高	最低	末値	最高	最低	末値	最高	最低
米穀指数	120	0	84	84	0	83	120	81	87	91	85	100	100	88

- 注：1 取組高とは市場において成立した未決済売買契約の数（売りと買いセットで1枚とカウント）。
- 2 取組高1枚当たりの取引単位は3t（玄米）。
- 3 図は令和6年8月13日から令和6年11月29日までの毎日の取組高の合計。
- 4 表はそれぞれの期間ごとに1日の取組高の月末の値、最高及び最低を表している。

ウ 限月別取組高

表 米穀指数

単位：枚

	R 7年 2月限	4月限	6月限	8月限	10月限	合計
R6年						
8月末	45	24	15	-	-	84
9月末	46	23	6	8	-	83
10月末	43	25	7	12	-	87
11月末	45	25	7	11	12	100

注： 各限月の月末時点の取組高を掲載。

(4) 取引参加者の構成

ア 当業者・非当業者の割合（令和6年8月～令和6年11月の各月末の割合）

図1 8月末売建玉

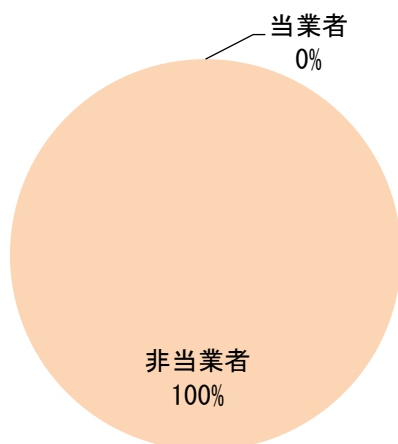


図2 8月末買建玉

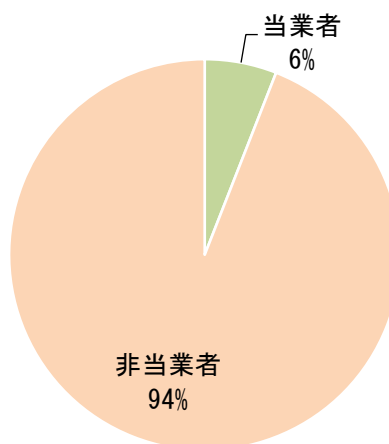


図3 9月末売建玉

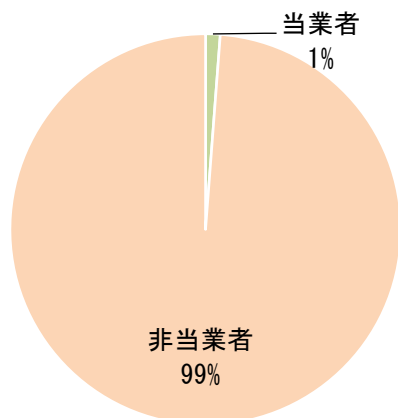


図4 9月末買建玉

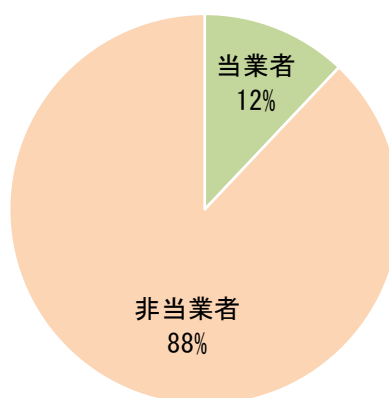


図5 10月末売建玉

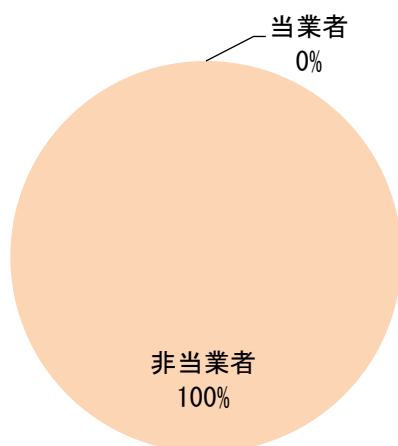


図6 10月末買建玉

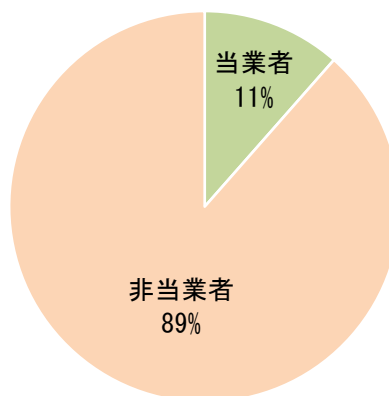


図7 11月末売建玉

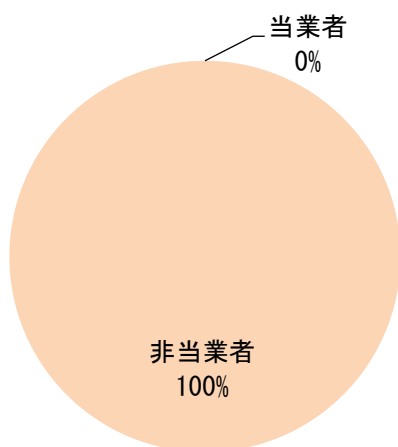
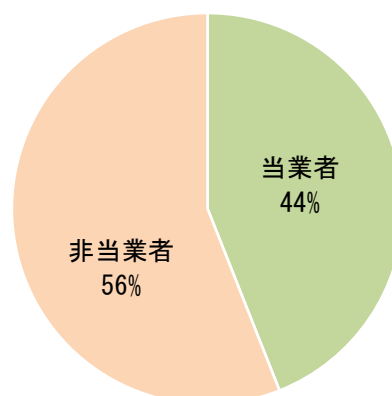


図8 11月末買建玉



-
- 注：1 取引所において把握している、令和6年8月から令和6年11月の各月末時点の建玉における当業者・非当業者の割合。
- 2 建玉とは、市場において成立した売買契約（将来売買する約束）のうち、まだ転売・買戻しが行われず、市場に残っている売買契約の総数（売りと買いそれぞれ1枚とカウント）。
- 3 当業者とは、米の売買、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工、又は使用を業として行っている者（生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等）。

イ 自己取引・委託取引の割合

表 各月末時点（米穀指数）

	建					玉				
	売					買				
	自	己		委	託	自	己		委	託
	(枚)	(枚)	(%)	(枚)	(%)	(枚)	(%)	(枚)	(枚)	(%)
8 月末	84	-	-	84	100	-	-	84	100	100
9 月末	83	-	-	83	100	-	-	83	100	100
10月末	87	-	-	87	100	-	-	87	100	100
11月末	100	-	-	100	100	-	-	100	100	100

注： 自己取引とは、取引参加資格を持つ者が自己資金で行う売買であり、委託取引とは、商品先物取引業者が顧客から委託を受けて、当該顧客の資金で行う売買をいう。

ウ 建玉報告対象者の割合

表 各月末時点（米穀指数）

	建			玉	
	売			買	
	(枚)	(枚)	(%)	(枚)	(%)
8 月末	84	45	53.6	-	-
9 月末	83	41	49.4	38	45.8
10月末	87	44	50.6	-	-
11月末	100	44	44.0	6	6.0

注： 建玉報告対象者とは、それぞれの商品先物市場において、一定の建玉（堂島取引所の米穀指数については 21 枚以上）を有する者。商品先物取引法第 112 条第 2 号に基づき、商品取引所は当該建玉の状況等を、毎日主務大臣に報告することとされている。

(5) 直近4ヶ月のデータ

ア 毎日の価格（終値）

表 1-1 米穀指数（8月・9月）

単位：円

	R7年2月限	R7年4月限	R7年6月限	R7年8月限	R7年10月限
R6年8月13日	17,200	17,200	17,200		
8月14日	17,390	17,370	17,350		
8月15日	17,570	17,540	17,510		
8月16日					
8月19日	17,710	17,700	17,690		
8月20日	18,060	18,050	18,040		
8月21日	18,510	18,500	18,480		
8月22日	19,060	19,050			
8月23日	19,550	19,530	19,490		
8月26日	20,140	20,120			
8月27日	20,740	20,720	20,670		
8月28日	21,360	21,340	21,290		
8月29日	22,000		21,930		
8月30日	22,660		22,590		
9月2日	23,340	23,320	23,270	23,270	
9月3日	24,040	24,020	23,970		
9月4日	23,320	24,740	23,900	24,000	
9月5日	23,980		23,790		
9月6日	23,500		23,310		
9月9日					
9月10日	23,030				
9月11日	22,450	23,170	22,270	22,700	
9月12日	21,780	22,470	21,600	22,020	
9月13日	21,130		20,950	21,360	
9月17日	20,500	21,150	20,320	20,720	
9月18日	19,880	20,520	19,710		
9月19日	19,280		19,200	19,500	
9月20日	18,780	19,300	19,000	18,910	
9月24日	18,780	18,730			
9月25日	19,200				
9月26日	19,580			19,000	
9月27日	19,970				
9月30日	20,470	19,580			

表 1-2 米穀指数 (10 月・11 月)

単位: 円

	R7 年 2 月 限	R7 年 4 月 限	R7 年 6 月 限	R7 年 8 月 限	R7 年 10 月 限
R6 年 10 月 1 日	20,470	20,170	20,460	20,460	
10 月 2 日	21,020	20,780	21,010	20,960	
10 月 3 日	20,490	21,300	20,480	20,440	
10 月 4 日	19,880			20,440	
10 月 7 日				20,440	
10 月 8 日					
10 月 9 日		21,300	21,300	20,850	
10 月 10 日				21,000	
10 月 11 日		21,700	21,700	21,420	
10 月 15 日					
10 月 16 日	20,990				
10 月 17 日					
10 月 18 日					
10 月 21 日				21,640	
10 月 22 日	21,950			22,070	
10 月 23 日	21,950		21,160		
10 月 24 日	22,300			22,500	
10 月 25 日					
10 月 28 日		22,000			
10 月 29 日	22,500	22,200		22,450	
10 月 30 日					
10 月 31 日				22,000	
11 月 1 日	22,800	22,640			
11 月 5 日					22,000
11 月 6 日	22,500	22,190			
11 月 7 日		21,770	21,700	21,650	
11 月 8 日		22,210	22,130		
11 月 11 日				22,190	
11 月 12 日		22,410			
11 月 13 日			22,550	22,500	22,440
11 月 14 日					
11 月 15 日					
11 月 18 日	22,550	22,410			
11 月 19 日	23,000				
11 月 20 日	23,460	23,150	23,050	22,900	22,890
11 月 21 日		23,600	23,500		
11 月 22 日					23,200
11 月 25 日				23,360	23,200
11 月 26 日	23,900				
11 月 27 日				23,500	
11 月 28 日		23,850			23,300
11 月 29 日	24,350	24,250	24,120	24,000	

イ 毎日の出来高

表 1-1 米穀指数（8月・9月）

単位：枚

	R7年2月 限	R7年4月 限	R7年6月 限	R7年8月 限	R7年10月 限	合 計
R6年8月13日	1	1	1			3
8月14日	1	1	1			3
8月15日	1	1	1			3
8月16日						
8月19日	1	1	1			3
8月20日	2	2	2			6
8月21日	10	10	2			22
8月22日	15	4				19
8月23日	10	5	1			16
8月26日	3	6				9
8月27日	1	1	6			8
8月28日	1	1	5			7
8月29日	5		1			6
8月30日	3		3			6
8月計	54	33	24			111
9月2日	8	11	3	1		23
9月3日	3	2	6			11
9月4日	27	5	20	4		56
9月5日	1		1			2
9月6日	2		2			4
9月9日						
9月10日	1					1
9月11日	1	1	2	4		8
9月12日	2	1	1	2		6
9月13日	1		4	1		6
9月17日	2	3	6	8		19
9月18日	2	2	5			9
9月19日	22		8	3		33
9月20日	23	3	5	8		39
9月24日	2	16				18
9月25日	2					2
9月26日	1			1		2
9月27日	1					1
9月30日	3	1				4
9月計	104	45	63	32		244

表 1-2 米穀指数 (10 月・11 月)

単位：枚

	R7 年 2 月 限	R7 年 4 月 限	R7 年 6 月 限	R7 年 8 月 限	R7 年 10 月 限	合 計
R6 年 10 月 1 日	1	5	3	6		15
10 月 2 日	3	1	2	1		7
10 月 3 日	1	1	2	3		7
10 月 4 日	1			1		2
10 月 7 日				3		3
10 月 8 日						
10 月 9 日		2	1	1		4
10 月 10 日				4		4
10 月 11 日		4	1	1		6
10 月 15 日						
10 月 16 日	1					1
10 月 17 日						
10 月 18 日						
10 月 21 日				1		1
10 月 22 日	1			2		3
10 月 23 日	1		2			3
10 月 24 日	2			2		4
10 月 25 日						
10 月 28 日		1				1
10 月 29 日	6	1		1		8
10 月 30 日						
10 月 31 日				1		1
10 月 計	17	15	11	27		70
11 月 1 日	15	1				16
11 月 5 日					1	1
11 月 6 日	1	3				4
11 月 7 日		2	1	1		4
11 月 8 日		2	1			3
11 月 11 日				3		3
11 月 12 日		1				1
11 月 13 日			1	1	2	4
11 月 14 日						
11 月 15 日						
11 月 18 日	1	1				2
11 月 19 日	1					1
11 月 20 日	7	1	1	1	3	13
11 月 21 日		8	5			13
11 月 22 日					4	4
11 月 25 日				1	3	4
11 月 26 日	1					1
11 月 27 日				1		1
11 月 28 日		1			1	2
11 月 29 日	2	2	1	1		6
11 月 計	28	22	10	9	14	83

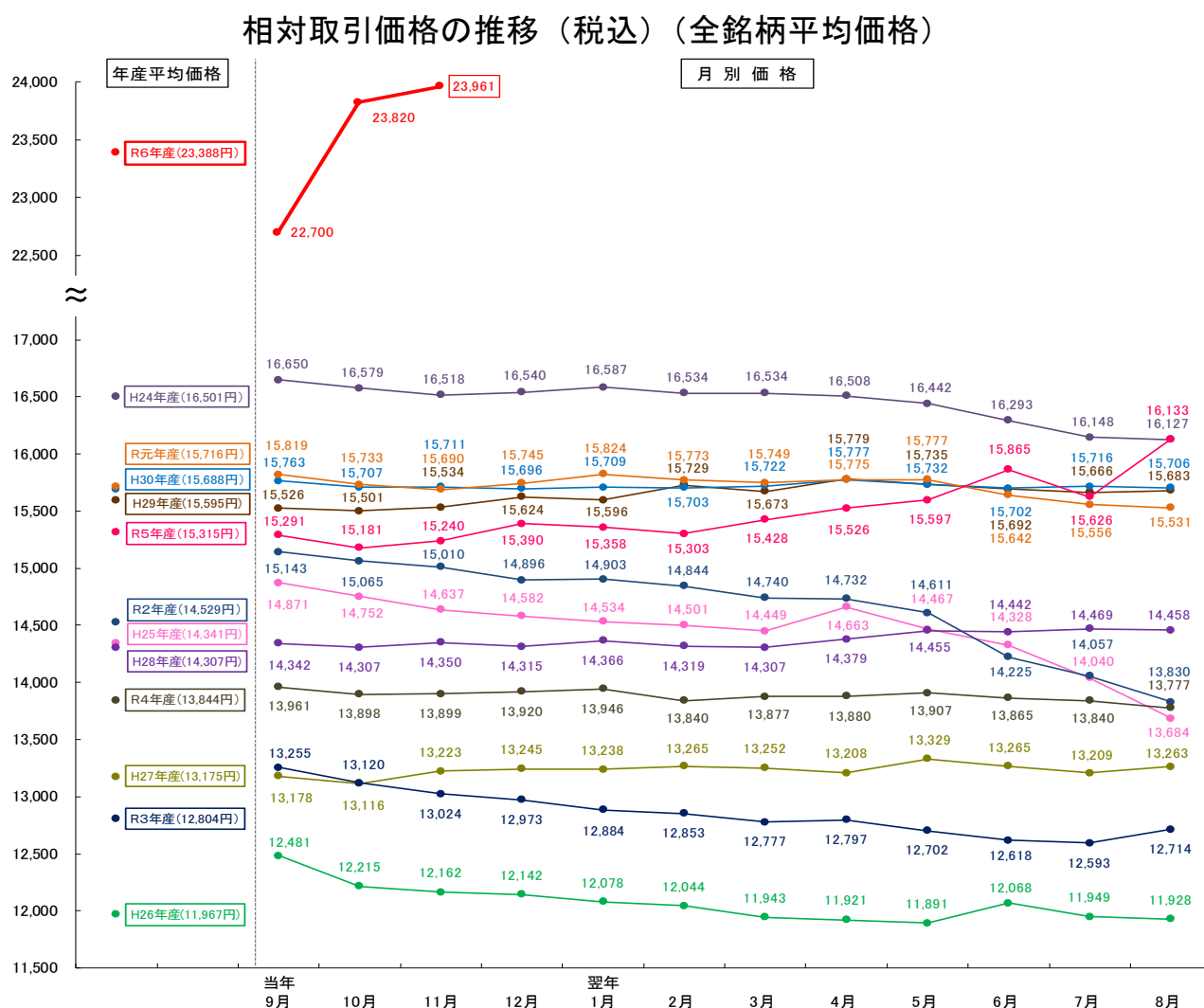
2 関連情報

(1) 米の関連情報

ア 米の取引価格及び数量

(ア) 年産別の相対取引価格（速報）

- 令和6年産米の令和6年 11 月の相対取引価格は、全銘柄平均で 23,961 円/60kg となり、前年同月比+8,721 円（+57%）、前月比+141 円（+1%）、取扱数量は、前年同月比+10%となったところ。
- 令和6年 11 月までの年産平均価格 23,388 円/60kg は、出荷業者と卸売業者等の間の取引価格としては、平成5年産の 23,607 円/60kg に次ぐ価格である。



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、平成26年3月以前は5%、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

3 グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（6年産は出回りから令和6年11月までの速報値）の通年平均価格、右側は月別の価格である。

(イ) 相対取引価格・数量（令和6年産米、産地品種銘柄別、令和6年11月分）（速報）

相対取引価格・数量（北海道から三重まで）

(単位:円／玄米60kg税込、玄米トン)																			
産地	品種銘柄	6年産米 令和6年11月		月別価格				年産平均価格				取引数量				取引数量 累計			
				6年産米 (6年10月)		5年産米 (5年11月)		6年産米 出回り～ 6年11月		5年産米 出回り～ 6年10月		6年産米 (6年10月)		5年産米 (5年11月)		6年産米 出回り～ 6年11月		5年産米 出回り～ 5年11月	
		価格	数量	③	対前月 ①/③	対前年 同月比 ①/④	④	⑤	⑥	対前年 比 ⑤/⑥	⑦	対前月 ②/⑦	対前年 同月比 ②/⑧	⑧	⑨	⑩	対前年 同月比 ⑨/⑩		
		①	②																
北海道	ななつぼし	25,862	14,076	25,241	102%	168%	15,379	24,564	15,655	157%	20,396	69%	103%	13,611	50,548	35,024	144%		
北海道	ゆめびりか	27,485	7,706	27,283	101%	165%	16,632	26,353	16,452	160%	9,328	83%	113%	6,794	26,046	17,091	152%		
北海道	きらら397	24,748	2,314	25,832	96%	165%	14,976	23,985	15,102	159%	1,778	130%	215%	1,076	4,972	2,565	194%		
青森	まっしぐら	25,953	10,382	26,352	98%	179%	14,461	26,073	15,220	171%	9,039	115%	383%	2,712	21,104	9,546	221%		
青森	つがるロマン	—	—	—	—	—	14,561	—	15,421	—	—	—	—	705	—	1,580	—		
岩手	ひとめぼれ	20,858	5,340	21,631	96%	142%	14,651	21,399	15,140	141%	15,346	35%	149%	3,572	21,777	12,635	172%		
岩手	銀河のしずく	21,876	2,148	21,873	100%	142%	15,373	21,756	15,459	141%	4,397	49%	158%	1,358	7,436	1,541	483%		
岩手	あきたこまち	23,665	993	23,711	100%	156%	15,146	23,710	15,119	157%	1,644	60%	462%	215	2,692	4,794	56%		
宮城	ひとめぼれ	22,026	9,255	24,331	91%	144%	15,282	23,034	15,007	153%	9,462	98%	124%	7,452	63,011	22,199	284%		
宮城	つや姫	24,643	208	24,458	101%	156%	15,786	23,813	15,556	153%	1,484	14%	24%	876	8,489	3,696	230%		
宮城	ササニシキ	24,372	360	25,414	96%	156%	15,642	23,982	15,592	154%	1,416	25%	37%	984	5,436	2,470	220%		
秋田	あきたこまち	22,563	10,301	23,708	95%	146%	15,452	23,348	15,317	152%	48,282	21%	78%	13,166	67,338	32,774	205%		
秋田	ひとめぼれ	19,947	1,085	23,033	87%	139%	14,322	22,398	14,375	156%	5,823	19%	33%	3,292	7,375	3,446	214%		
秋田	めんこいな	22,300	1,785	20,742	108%	161%	13,870	21,876	14,213	154%	644	277%	565%	316	2,441	741	329%		
山形	はえぬき	24,846	2,980	23,578	105%	169%	14,704	23,723	14,779	161%	3,884	77%	38%	7,901	8,269	8,151	101%		
山形	つや姫	27,738	5,319	25,403	109%	147%	18,847	26,363	18,745	141%	5,374	99%	162%	3,289	11,352	10,488	108%		
山形	雪若丸	25,772	1,248	24,092	107%	164%	15,678	24,394	15,497	157%	1,715	73%	75%	1,675	3,573	3,643	98%		
福島	コシヒカリ(中通り)	25,912	4,628	24,857	104%	176%	14,691	25,522	14,959	171%	2,479	187%	158%	2,922	7,221	4,552	159%		
福島	コシヒカリ(会津)	26,972	5,926	26,873	100%	174%	15,524	26,952	15,494	174%	1,781	333%	1122%	528	7,760	1,755	442%		
福島	コシヒカリ(浜通り)	25,260	2,075	24,803	102%	172%	14,685	25,192	15,131	166%	210	988%	130%	1,593	2,309	1,539	150%		
福島	ひとめぼれ	25,278	2,852	25,576	99%	178%	14,220	25,261	14,537	174%	1,141	250%	161%	1,769	4,292	3,059	140%		
福島	天のつづ	24,329	3,216	24,895	98%	176%	13,820	24,416	14,296	171%	675	476%	266%	1,210	3,910	1,978	198%		
茨城	コシヒカリ	28,467	3,067	26,946	106%	188%	15,128	26,992	15,235	177%	4,471	69%	62%	4,949	18,781	15,266	123%		
茨城	あきたこまち	—	—	28,209	—	—	14,658	25,503	14,726	173%	149	—	—	305	5,959	5,362	111%		
茨城	にじのきらめき	26,485	419	26,327	101%	—	—	26,435	—	—	468	90%	—	—	914	686	133%		
栃木	コシヒカリ	25,622	511	23,463	109%	174%	14,748	23,523	15,152	155%	5,499	9%	11%	4,448	29,753	6,766	440%		
栃木	とちぎの星	—	—	22,851	—	—	14,629	23,019	14,476	159%	1,099	—	—	279	4,442	1,514	293%		
栃木	あさひの夢	—	—	22,663	—	—	13,177	22,896	14,145	162%	480	—	—	185	1,644	351	468%		
群馬	あさひの夢	27,027	272	—	—	—	—	27,027	15,219	178%	—	—	—	—	273	—	—		
群馬	ゆめまつり	—	—	—	—	—	—	—	14,976	—	—	—	—	—	—	—	—		
埼玉	彩のきずな	22,068	546	20,965	105%	151%	14,590	21,168	14,489	146%	490	111%	255%	214	1,099	824	133%		
埼玉	彩のかがやき	23,596	199	—	—	169%	13,994	23,698	14,333	165%	—	—	68%	292	288	961	30%		
埼玉	コシヒカリ	24,168	217	22,189	109%	164%	14,738	22,946	15,055	152%	117	185%	105%	207	417	770	54%		
千葉	コシヒカリ	23,262	749	24,667	94%	160%	14,524	24,035	14,611	164%	1,396	54%	83%	904	16,971	16,404	103%		
千葉	ふさこがね	24,775	1,270	24,495	101%	182%	13,614	23,366	13,742	170%	500	254%	78%	1,634	8,183	5,964	137%		
千葉	ふさおとめ	25,083	1,367	22,877	110%	183%	13,689	23,394	13,985	167%	589	232%	321%	426	7,140	5,797	123%		
山梨	コシヒカリ	19,710	259	19,793	100%	112%	17,594	19,777	17,535	113%	374	69%	93%	279	749	514	146%		
長野	コシヒカリ	25,840	3,317	21,759	119%	162%	15,954	21,940	15,895	138%	5,542	60%	107%	3,094	17,871	11,593	154%		
長野	あきたこまち	24,165	353	21,948	110%	160%	15,079	20,536	15,127	136%	106	333%	158%	224	2,303	1,940	119%		
静岡	コシヒカリ	18,676	138	18,077	103%	121%	15,492	20,943	15,560	135%	111	124%	74%	186	986	784	126%		
静岡	きぬむすめ	—	—	—	—	—	—	—	14,438	—	—	—	—	—	—	—	—		
静岡	にこまる	—	—	—	—	—	—	—	14,407	—	—	—	—	—	—	—	—		
新潟	コシヒカリ(一般)	21,680	4,720	23,487	92%	129%	16,792	22,540	16,927	133%	39,815	12%	1183%	399	64,341	8,148	790%		
新潟	コシヒカリ(魚沼)	26,006	2,093	25,505	102%	124%	20,939	25,180	20,758	121%	8,022	26%	478%	438	14,373	2,134	674%		
新潟	コシヒカリ(佐渡)	21,281	273	24,119	88%	120%	17,703	22,829	17,441	131%	5,828	5%	50%	546	10,779	1,485	726%		
新潟	コシヒカリ(岩船)	21,794	159	24,311	90%	125%	17,389	22,845	17,325	132%	5,412	3%	67%	236	10,100	1,868	541%		
新潟	こしいぶき	21,933	895	22,199	99%	150%	14,623	20,489	14,596	140%	3,418	26%	102%	877	9,830	4,713	209%		
富山	コシヒカリ	23,215	2,299	25,583	91%	146%	15,879	22,907	15,915	144%	8,545	27%	119%	1,937	20,417	19,777	103%		
富山	てんたかく	20,040	330	19,919	101%	138%	14,537	20,241	14,920	136%	452	73%	68%	487	2,690	2,507	107%		
石川	コシヒカリ	23,683	1,096	21,206	112%	149%	15,885	21,880	15,678	140%	657	167%	208%	527	7,660	2,415	317%		
石川	ゆめみづほ	23,288	665	—	—	161%	14,494	20,965	14,415	145%	—	—	223%	298	2,643	893	296%		
福井	コシヒカリ	21,557	5,363	23,128	93%	140%	15,433	21,115	15,380	137%	1,042	515%	127%	4,215	12,609	7,265	174%		
福井	ハナエチゼン	21,563	2,133	22,252	97%	154%	14,013	20,081	13,881	145%	856	249%	75%	2,859	9,783	8,591	114%		
福井	あきさかり	20,309	587	20,445	99%	143%	14,154	19,720	14,185	139%	277	212%	46%	1,274	2,238	2,224	101%		
岐阜	ハツシモ	22,898	332	20,950	109%	151%	15,144	21,988	15,087	146%	291	114%	36%	926	623	1,334	47%		
岐阜	コシヒカリ	22,369	149	21,586	104%	137%	16,317	21,479	16,144	133%	331	45%	101%	147	924	1,679	55%		
岐阜	ほしじろし	23,650	150	23,092	102%	172%	13,784	23,401	13,929	168%	121	124%	42%	359	271	617	44%		
愛知	あいちのかおり	20,000	208	19,703	102%	140%	14,276	19,853	14,479	137%	202	103%	75%	279	410	482	85%		
愛知	コシヒカリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
愛知	大地の風	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
三重	コシヒカリ(一般)	23,889	988	22,825	105%	164%	14,597	21,892	14,716	149%	200	494%	118%	840	4,026	4,410	91%		
三重	コシヒカリ(伊賀)	24,065	881	—	—	160%	15,073	22,568	15,085	150%	—	—	678%	130	2,112	1,812	117%		
三重	キヌヒカリ	23,373	228	—	—	—	—	22,047	13,563	163%	—	—	—	—	448	513	87%		

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照

相対取引価格・数量（滋賀から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	6年産米 令和6年11月		月別価格				年産平均価格			取引数量				取引数量 累計		
		価格 ①	数量 ②	6年産米 (6年10月) ③	対前月 比 ①/③	対前年 同月比 ①/④	5年産米 (5年11月) ④	6年産米 出回り～ 6年11月 ⑤	5年産米 出回り～ 6年10月 ⑥	対前年 比 ⑤/⑥	6年産米 (6年10月) ⑦	対前月 比 ②/⑦	対前年 同月比 ②/⑧	5年産米 (5年11月) ⑧	6年産米 出回り～ 6年11月 ⑨	5年産米 出回り～ 5年11月 ⑩	対前年 同月比 ⑨/⑩
滋賀	コシヒカリ	22,872	1,409	22,546	101%	150%	15,284	21,603	15,271	141%	966	146%	84%	1,669	5,864	6,467	91%
滋賀	キヌヒカリ	21,835	469	21,315	102%	157%	13,934	21,051	13,965	151%	760	62%	39%	1,194	1,723	2,904	59%
滋賀	みずかがみ	22,853	927	22,502	102%	153%	14,939	21,429	14,915	144%	844	110%	146%	634	4,737	4,023	118%
京都	コシヒカリ	23,354	396	21,739	107%	146%	15,953	22,062	15,502	142%	146	271%	110%	359	2,712	2,888	94%
京都	キヌヒカリ	—	—	—	—	—	14,283	19,434	14,057	138%	—	—	—	244	673	689	98%
京都	ヒノヒカリ	23,164	234	—	—	141%	16,383	21,277	15,970	133%	—	—	26%	899	312	863	36%
兵庫	コシヒカリ	23,446	1,406	22,712	103%	149%	15,766	21,855	15,492	141%	447	315%	150%	938	4,007	2,846	141%
兵庫	ヒノヒカリ	20,233	120	21,184	96%	145%	13,955	20,823	14,074	148%	196	61%	46%	262	316	446	71%
兵庫	キヌヒカリ	21,276	219	20,668	103%	154%	13,783	20,569	13,986	147%	398	55%	57%	383	772	838	92%
奈良	ヒノヒカリ	—	—	—	—	—	14,280	—	14,389	—	—	—	—	502	—	684	—
鳥取	きぬむすめ	21,536	349	21,046	102%	151%	14,262	20,991	14,404	146%	463	75%	72%	486	1,071	1,245	86%
鳥取	コシヒカリ	22,149	218	21,022	105%	150%	14,810	21,144	15,005	141%	724	30%	115%	190	1,161	774	150%
鳥取	ひとめぼれ	—	—	20,740	—	—	14,189	20,248	14,243	142%	156	—	—	157	811	1,317	62%
鳥根	きぬむすめ	20,880	591	19,830	105%	145%	14,426	19,596	14,117	139%	1,622	36%	67%	888	9,666	6,978	139%
鳥根	コシヒカリ	21,955	1,007	21,055	104%	149%	14,782	20,645	14,978	138%	1,069	94%	89%	1,132	8,056	7,303	110%
鳥根	つや姫	—	—	20,295	—	—	14,603	20,264	14,743	137%	1,293	—	—	587	4,285	2,684	160%
岡山	アケボノ	—	—	23,393	—	—	13,154	23,373	13,208	177%	1,080	—	—	431	1,114	638	175%
岡山	きぬむすめ	22,891	758	22,775	101%	155%	14,738	22,233	13,793	161%	1,396	54%	626%	121	4,880	919	531%
岡山	コシヒカリ	23,817	764	23,668	101%	159%	14,975	23,091	14,533	159%	848	90%	295%	259	3,999	1,514	264%
広島	コシヒカリ	21,282	349	20,673	103%	148%	14,377	20,852	14,550	143%	1,540	23%	50%	702	3,170	1,584	200%
広島	あきさかり	20,257	332	19,571	104%	151%	13,421	19,787	13,857	143%	1,063	31%	38%	874	1,566	1,210	129%
広島	あきろまん	20,904	102	19,873	105%	157%	13,320	20,043	13,956	144%	684	15%	21%	493	928	491	189%
山口	コシヒカリ	21,237	221	21,100	101%	145%	14,632	21,686	14,918	145%	803	28%	133%	166	1,842	1,494	123%
山口	ひとめぼれ	20,910	384	20,435	102%	150%	13,970	20,876	14,071	148%	373	103%	54%	716	1,073	1,395	77%
山口	きぬむすめ	20,493	170	20,673	99%	146%	14,037	20,613	14,000	147%	337	50%	16%	1,041	507	1,467	35%
徳島	コシヒカリ	—	—	—	—	—	14,137	23,211	14,137	164%	—	—	—	941	4,876	2,016	242%
徳島	あきさかり	22,242	243	—	—	165%	13,489	22,238	13,426	166%	—	—	16%	1,534	742	2,014	37%
香川	コシヒカリ	22,885	494	21,049	109%	149%	15,325	21,595	15,325	141%	411	120%	211%	234	1,661	979	170%
香川	ヒノヒカリ	22,345	312	20,509	109%	153%	14,569	21,848	14,569	150%	116	269%	75%	414	428	550	78%
香川	あきさかり	22,129	372	20,293	109%	155%	14,245	21,441	14,245	151%	115	323%	95%	392	595	473	126%
愛媛	コシヒカリ	—	—	24,095	—	—	—	20,794	14,310	145%	376	—	—	—	2,268	2,203	103%
愛媛	ヒノヒカリ	—	—	23,663	—	—	—	23,677	13,878	171%	349	—	—	—	406	597	68%
愛媛	あきたこまち	—	—	—	—	—	—	20,228	13,596	149%	—	—	—	—	257	681	38%
高知	コシヒカリ	—	—	—	—	—	—	22,339	14,922	150%	—	—	—	—	6,684	3,676	182%
高知	ヒノヒカリ	—	—	21,367	—	—	13,634	21,367	13,634	157%	193	—	—	124	264	336	79%
福岡	夢つくし	24,407	2,014	21,562	113%	160%	15,299	22,039	15,458	143%	1,384	146%	156%	1,293	6,240	4,339	144%
福岡	ヒノヒカリ	22,515	548	21,100	107%	156%	14,466	21,350	14,139	151%	2,548	22%	227%	241	3,096	1,651	187%
福岡	元気つくし	22,944	1,145	21,769	105%	152%	15,141	22,185	15,434	144%	1,515	76%	136%	843	2,924	3,909	75%
佐賀	さがびより	21,988	618	22,005	100%	146%	15,111	21,992	14,873	148%	191	324%	109%	567	809	703	115%
佐賀	夢しずく	21,387	650	20,857	103%	147%	14,598	21,026	14,377	146%	738	88%	117%	556	1,535	1,377	111%
佐賀	ヒノヒカリ	—	—	—	—	—	14,457	—	14,121	—	—	—	—	261	—	324	—
長崎	にこまる	23,641	225	—	—	164%	14,416	23,641	14,584	162%	—	—	161%	140	281	470	60%
長崎	なつぽのか	—	—	22,424	—	—	—	22,881	14,209	161%	113	—	—	—	208	470	44%
長崎	ヒノヒカリ	—	—	—	—	—	—	23,209	14,331	162%	—	—	—	—	161	171	94%
熊本	ヒノヒカリ	24,469	204	24,890	98%	169%	14,509	24,631	14,821	166%	128	159%	44%	466	331	680	49%
熊本	森のくまさん	—	—	—	—	—	—	—	14,442	—	—	—	—	—	—	—	—
熊本	コシヒカリ	23,898	158	23,857	100%	159%	15,010	23,397	15,242	154%	391	40%	42%	376	1,026	930	110%
大分	ヒノヒカリ	24,126	345	23,588	102%	165%	14,601	23,849	14,454	165%	322	107%	117%	295	698	1,074	65%
大分	なつぽのか	24,019	274	23,789	101%	—	—	23,936	—	—	154	178%	—	—	428	1,091	39%
大分	ひとめぼれ	24,285	589	—	—	—	—	24,052	14,574	165%	—	—	—	—	708	974	73%
宮崎	コシヒカリ	—	—	22,600	—	—	—	22,600	14,582	155%	4,405	—	—	—	4,405	4,610	96%
宮崎	ヒノヒカリ	—	—	—	—	—	—	—	15,219	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿児島	ヒノヒカリ	—	—	—	—	—	—	—	14,763	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿児島	あきほなみ	—	—	—	—	—	—	—	15,115	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿児島	コシヒカリ	—	—	—	—	—	—	21,140	14,670	144%	—	—	—	—	771	1,765	44%
全銘柄平均価格、合計数量		23,961	150,099	23,820	101%	157%	15,240	23,388	15,315	153%	274,490	55%	110%	136,160	738,722	425,659	174%

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。

3 価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の取引状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。

6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（6年産は速報値）。

7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。

8 「－」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。また、各年産米の年産平均価格について、令和6年産米は、当該月までの相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。令和5年産米は、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄であり、価格の公表を行わないものである。

9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

イ 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和6年11月分）

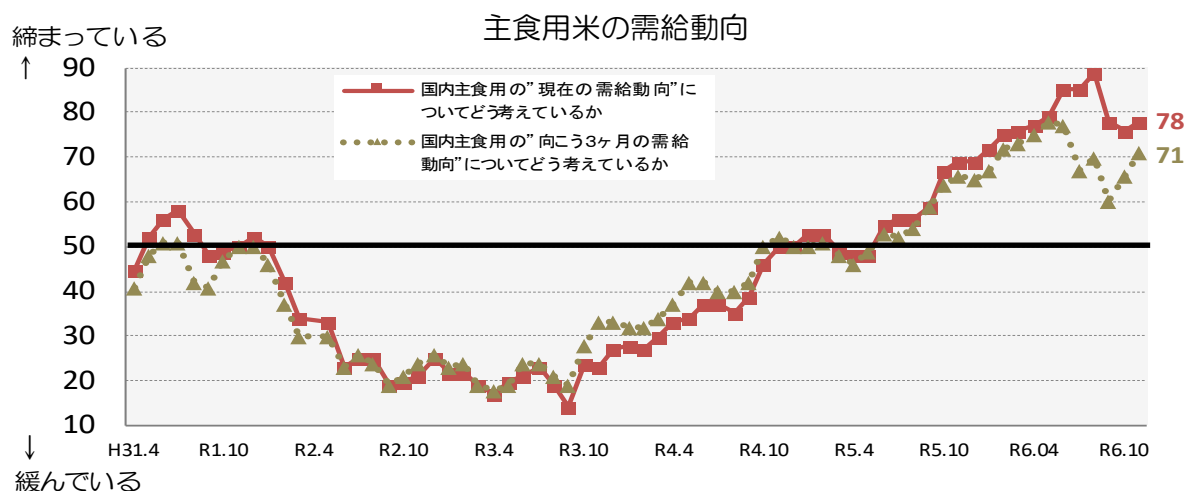
調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
【<https://www.komenet.jp/>】

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和6年11月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は前回調査と比べて+2ポイントの「やや増加」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+5ポイントの「増加」。
- 米価水準の現状判断は前回調査と比べて▲1ポイントの「横ばい」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+8ポイントの「大幅に増加」。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

① 主食用米の需給動向

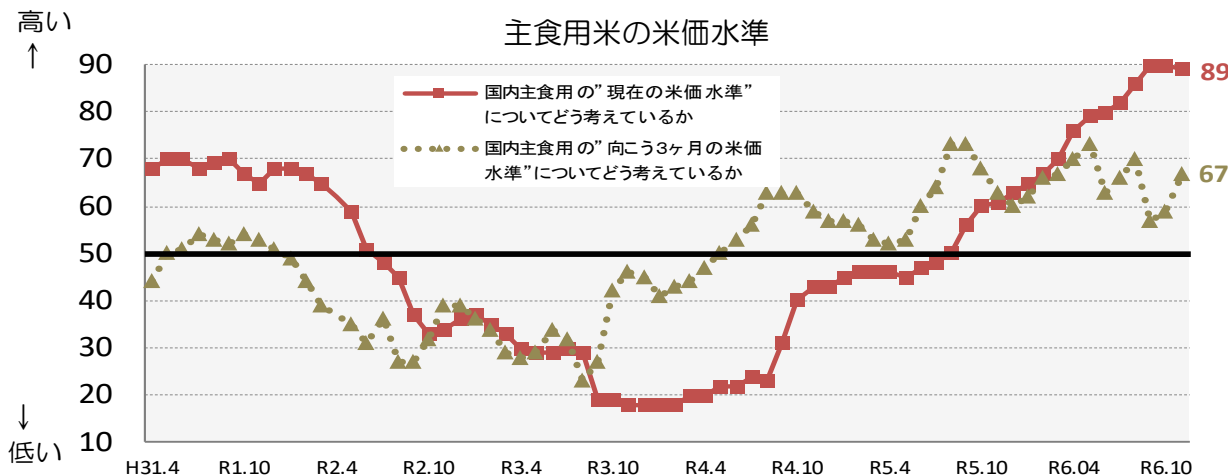
- (ア) 現状判断DI 前回からの増減 +2（今月の数値 78）
(イ) 見通し判断DI（向こう3ヶ月） 前回からの増減 +5（今月の数値 71）



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

② 主食用米の米価水準

- (ア) 現状判断DI 前回からの増減 ▲1（今月の数値 89）
(イ) 見通し判断DI（向こう3ヶ月） 前回からの増減 +8（今月の数値 67）



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し 100 に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に 0 に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

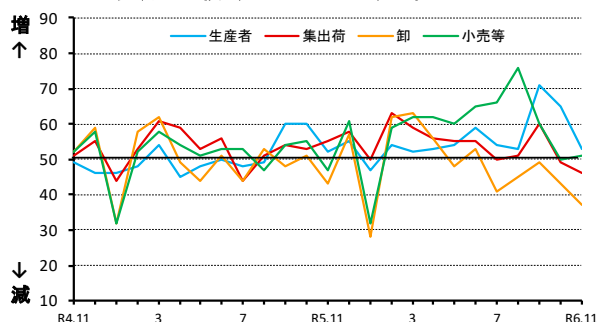
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減 ▲12 (今月の数値 53)
 集出荷：前回からの増減 ▲3 (今月の数値 46)
 卸：前回からの増減 ▲6 (今月の数値 37)
 小売等：前回からの増減 +1 (今月の数値 51)

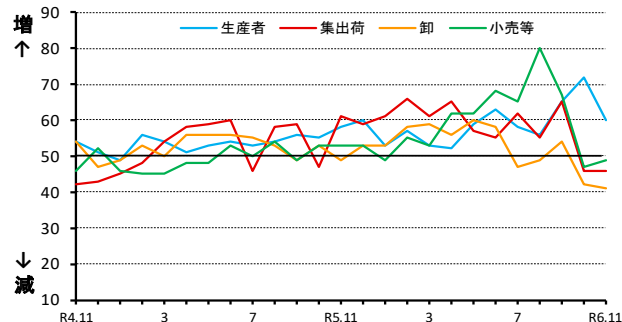
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲12 (今月の数値 60)
 集出荷：前回からの増減 ±0 (今月の数値 46)
 卸：前回からの増減 ▲1 (今月の数値 41)
 小売等：前回からの増減 +2 (今月の数値 49)

①-ア-a 貴社の「今月」の主食用米の「販売数量」について、「先月と比較」といかがですか。



①-ア-b 貴社の「今月」の主食用米の「販売数量」について、「前年同月と比較」といかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

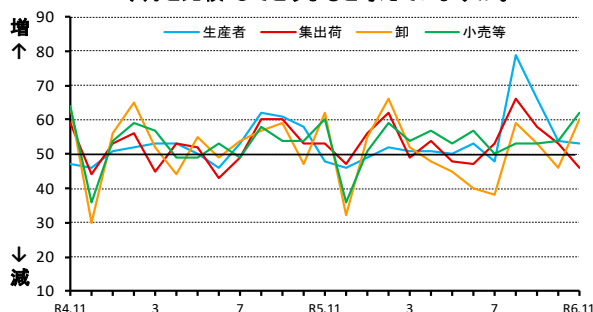
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減 ▲1 (今月の数値 53)
 集出荷：前回からの増減 ▲7 (今月の数値 46)
 卸：前回からの増減 +14 (今月の数値 60)
 小売等：前回からの増減 +8 (今月の数値 62)

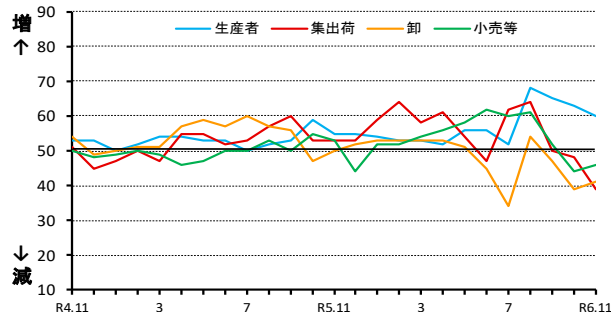
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲3 (今月の数値 60)
 集出荷：前回からの増減 ▲9 (今月の数値 39)
 卸：前回からの増減 +2 (今月の数値 41)
 小売等：前回からの増減 +2 (今月の数値 46)

①-イ-a 貴社の「来月」の主食用米の「販売数量」について、「今月と比較」してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の「来月」の主食用米の「販売数量」について、「前年同月と比較」してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し 100 に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が
前月より強くなり、反対に 0 に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が
前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

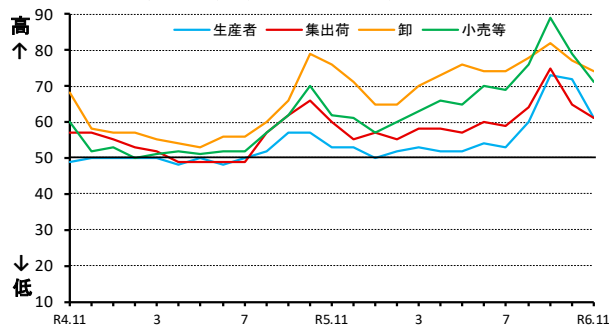
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減 ▲11 (今月の数値 61)
集出荷：前回からの増減 ▲4 (今月の数値 61)
卸：前回からの増減 ▲3 (今月の数値 74)
小売等：前回からの増減 ▲8 (今月の数値 71)

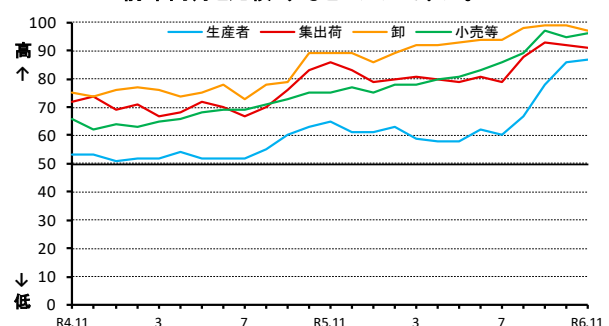
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 +1 (今月の数値 87)
集出荷：前回からの増減 ▲1 (今月の数値 91)
卸：前回からの増減 ▲2 (今月の数値 97)
小売等：前回からの増減 +1 (今月の数値 96)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、 "先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、 "前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通し D I

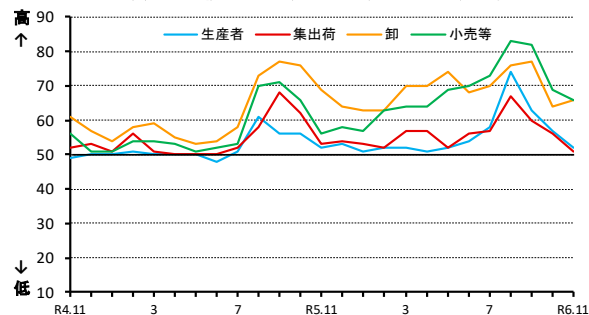
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減 ▲5 (今月の数値 52)
集出荷：前回からの増減 ▲5 (今月の数値 51)
卸：前回からの増減 +2 (今月の数値 66)
小売等：前回からの増減 ▲3 (今月の数値 66)

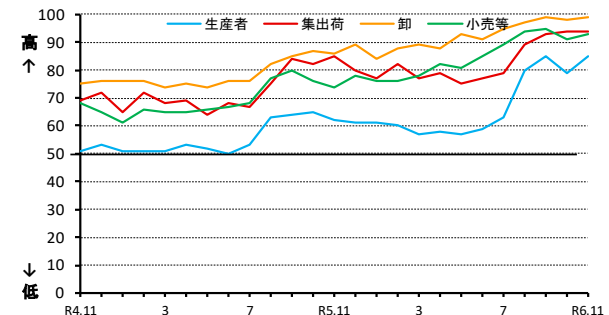
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 +6 (今月の数値 85)
集出荷：前回からの増減 ±0 (今月の数値 94)
卸：前回からの増減 +1 (今月の数値 99)
小売等：前回からの増減 +2 (今月の数値 93)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、 "今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、 "前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し 100 に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に 0 に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

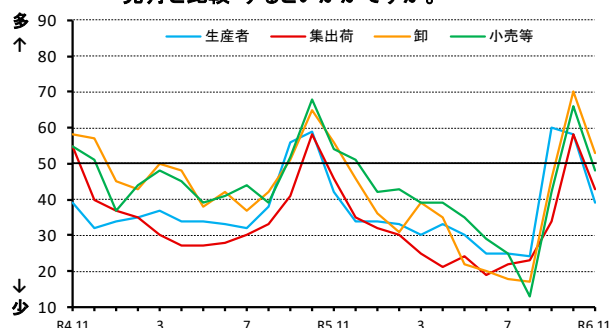
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減 ▲19 (今月の数値 39)
集出荷：前回からの増減 ▲15 (今月の数値 43)
卸：前回からの増減 ▲17 (今月の数値 53)
小売等：前回からの増減 ▲18 (今月の数値 48)

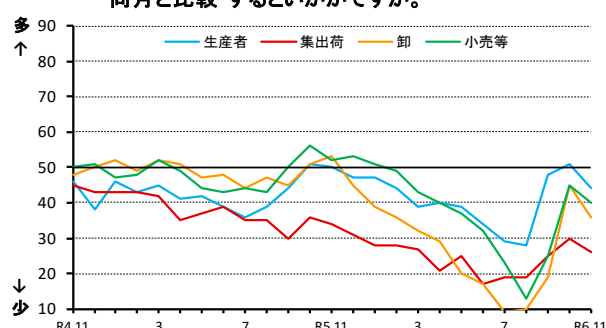
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲7 (今月の数値 44)
集出荷：前回からの増減 ▲4 (今月の数値 26)
卸：前回からの増減 ▲9 (今月の数値 36)
小売等：前回からの増減 ▲5 (今月の数値 40)

③-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”について、“先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”は、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

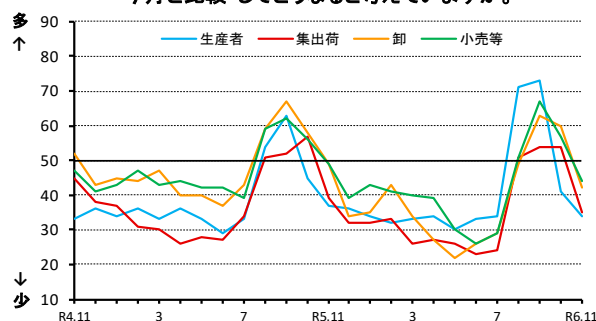
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減 ▲7 (今月の数値 34)
集出荷：前回からの増減 ▲19 (今月の数値 35)
卸：前回からの増減 ▲18 (今月の数値 42)
小売等：前回からの増減 ▲13 (今月の数値 44)

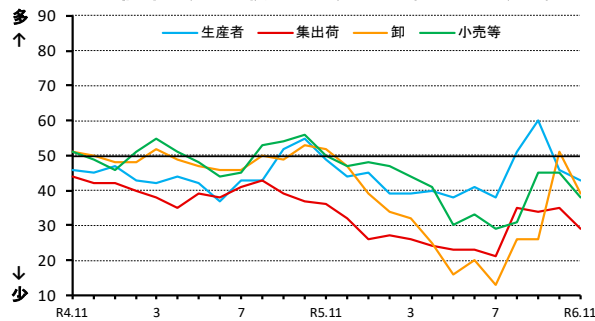
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲3 (今月の数値 43)
集出荷：前回からの増減 ▲6 (今月の数値 29)
卸：前回からの増減 ▲12 (今月の数値 39)
小売等：前回からの増減 ▲7 (今月の数値 38)

③-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



取引関係者が１の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の 在庫水準	国の政策	米穀の 調達状況	消費者の 動向	競合商品の 販売動向	その他		作柄	国内の 在庫水準	国の政策	米穀の 調達状況	消費者の 動向	競合商品の 販売動向	その他
R4.1.1	12%	18%	4%	42%	14%	8%	1%	R5.1.1	22%	19%	1%	44%	10%	4%	0%
R4.1.2	12%	23%	3%	44%	11%	6%	1%	R5.1.2	12%	23%	3%	46%	12%	4%	0%
R5.1	5%	28%	4%	42%	14%	6%	1%	R6.1	9%	28%	2%	46%	10%	3%	2%
R5.2	2%	25%	5%	45%	16%	5%	1%	R6.2	9%	27%	1%	51%	8%	4%	0%
R5.3	1%	29%	3%	41%	16%	8%	1%	R6.3	7%	29%	0%	53%	8%	2%	1%
R5.4	1%	27%	4%	44%	14%	9%	1%	R6.4	3%	29%	2%	52%	9%	3%	1%
R5.5	2%	28%	3%	37%	22%	6%	2%	R6.5	6%	30%	1%	55%	4%	2%	1%
R5.6	1%	30%	3%	45%	12%	8%	1%	R6.6	5%	34%	1%	49%	7%	3%	1%
R5.7	3%	30%	1%	48%	14%	3%	1%	R6.7	6%	35%	3%	46%	7%	3%	1%
R5.8	11%	26%	3%	44%	8%	3%	5%	R6.8	2%	43%	2%	45%	5%	1%	1%
R5.9	20%	18%	1%	44%	9%	5%	2%	R6.9	6%	24%	1%	52%	11%	3%	2%
R5.10	24%	21%	1%	42%	8%	3%	1%	R6.10	7%	22%	2%	54%	10%	3%	2%
								R6.11	10%	17%	2%	53%	12%	6%	1%

《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月１日から２５日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の１８０客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、

令和５年４月にアンケート対象事業者の一部入替を行いました。

○有効回答数：１４４客体

生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・２１
 卸売業者（主に主食用米）・・・・２８
 小売業者／中食・外食業者・・・・４９
 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《D I の算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する５段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（％）に乗じてD I を算出します。

ただし、D I の推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じD I が観測されることに注意が必要です。

（D I の算出例）

問：国内の主食用米の“向こう３ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	＋１	＋０. 75	＋０. 5	＋０. 25	０
構成比(B)	17. 8	20. 0	20. 0	22. 2	20. 0
各DI(C＝A×B)	17. 8	15	10	5. 6	0
DI(合計)	48. 4				

ウ 事前契約（播種前契約）の取組状況

（ア） 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移

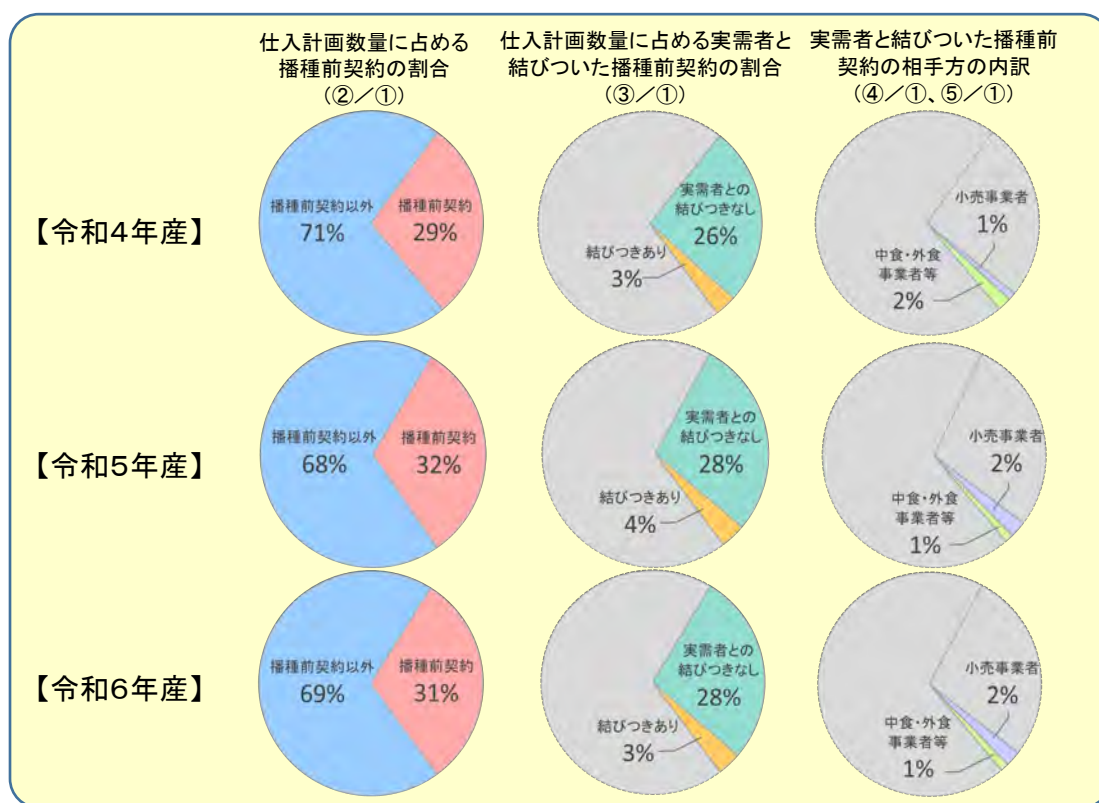
- 事前契約（播種前契約）の取組状況について、一定規模以上の集出荷業者を対象に調査を実施。
- 6年産の仕入計画数量に占める播種前契約（複数年契約を含む）の割合は31%。6年産の仕入計画数量に占める実需者と結びついた播種前契約の割合は3%。

【播種前契約の状況】

（単位：千トン）

年産	仕入計画 数量 ①	播種前契約 数量 ②	うち実需者との結びつき		
			計	中食・外食等	小売
			③	④	⑤
3年産	3,699	1,026 (28%)	184 (5%)	95 (3%)	89 (2%)
4年産	3,451	1,001 (29%)	108 (3%)	69 (2%)	40 (1%)
5年産	3,504	1,115 (32%)	127 (4%)	42 (1%)	85 (2%)
6年産	3,549	1,104 (31%)	123 (3%)	44 (1%)	79 (2%)

【近年の播種前契約の状況】



注1：調査対象は、年間取扱数量500トン以上の集出荷業者。

2：仕入計画数量は、卸売業者や小売事業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入（集荷）計画数量（見込含む）として調査。

3：播種前契約数量は、生産年の3月末までに締結した事前契約（確認書等により販売数量が決定しているもの）の数量をいう。

4：中食・外食等は、小売以外の実需者（学校給食や事業所給食など）との契約を含む。

5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(イ) 令和5・6年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

（単位：千玄米トン、％）

	5 年 産				6 年 産			
	仕入計画 数量	うち播種前契約		うち 複数年契約	仕入計画 数量	うち播種前契約		うち複数年契約
		契約数量	契約比率 ②／①	契約数量		契約数量（前年差）	契約比率（前年差） ⑤／④	契約数量（前年差）
①	②	②／①	③	④	⑤	⑤／④	⑥	
北 海 道	369	164	44%	162	385	176 （+13）	46% （+2%）	176 （+15）
青 森	171	36	21%	29	181	41 （+5）	23% （+2%）	34 （+5）
岩 手	157	65	41%	65	138	67 （+2）	48% （+7%）	62 （▲2）
宮 城	184	143	78%	93	186	125 （▲18）	67% （▲11%）	101 （+8）
秋 田	299	142	47%	109	285	130 （▲12）	46% （▲2%）	114 （+5）
山 形	242	60	25%	45	244	54 （▲6）	22% （▲3%）	41 （▲4）
福 島	172	31	18%	31	194	40 （+9）	21% （+2%）	37 （+6）
茨 城	131	33	25%	3	124	26 （▲7）	21% （▲4%）	1 （▲1）
栃 木	136	72	53%	59	169	59 （▲13）	35% （▲18%）	59 （+0）
群 馬	27	7	24%	－	26	5 （▲1）	20% （▲4%）	－
埼 玉	53	8	15%	1	40	8 （+0）	20% （+5%）	1 （▲0）
千 葉	111	15	13%	8	118	10 （▲5）	8% （▲5%）	8 （+0）
東 京	－	－	－	－	－	－	－	－
神 奈 川	3	－	－	－	4	－	－	－
山 梨	5	－	－	－	6	－	－	－
長 野	87	38	43%	37	95	37 （▲1）	39% （▲5%）	37 （▲1）
静 岡	13	－	－	－	13	－	－	－
新 潟	369	109	30%	73	347	117 （+7）	34% （+4%）	79 （+6）
富 山	100	－	－	－	95	0	0%	0
石 川	65	11	17%	－	66	17 （+5）	26% （+8%）	－
福 井	51	7	13%	5	49	7 （+0）	15% （+2%）	7 （+2）
岐 阜	18	11	63%	5	34	10 （▲1）	30% （▲33%）	3 （▲2）
愛 知	43	2	4%	1	48	1 （▲1）	2% （▲2%）	0 （▲1）
三 重	45	30	67%	－	44	28 （▲2）	65% （▲3%）	－
滋 賀	46	28	61%	5	59	20 （▲8）	34% （▲27%）	8 （+4）
京 都	18	5	28%	1	18	3 （▲1）	19% （▲9%）	1 （▲0）
大 阪	3	－	－	－	2	－	－	－
兵 庫	60	17	29%	－	37	16 （▲1）	43% （+14%）	－
奈 良	10	－	－	－	10	－	－	－
和 歌 山	2	－	－	－	3	－	－	－
鳥 取	26	2	8%	－	25	0 （▲2）	1% （▲7%）	0
島 根	33	－	－	－	35	－	－	－
岡 山	39	－	－	－	42	1	1%	1
広 島	36	22	61%	－	40	22 （+0）	55% （▲6%）	－
山 口	41	19	47%	0	40	14 （▲5）	35% （▲12%）	0 （▲0）
徳 島	16	4	23%	－	16	－	－	－
香 川	20	－	－	－	20	－	－	－
愛 媛	16	7	44%	－	16	7 （+0）	44% （+0%）	－
高 知	12	－	－	－	9	－	－	－
福 岡	63	1	2%	－	64	31 （+30）	49% （+47%）	－
佐 賀	35	14	39%	12	41	18 （+4）	44% （+5%）	15 （+4）
長 崎	10	7	76%	－	10	7 （▲0）	70% （▲5%）	－
熊 本	57	－	－	－	58	－	－	－
大 分	20	4	23%	1	22	7 （+3）	33% （+10%）	1 （+0）
宮 崎	26	－	－	－	33	－	－	－
鹿 児 島	21	－	－	－	24	－	－	－
沖 縄	1	－	－	－	1	－	－	－
全 国	3,504	1,115	32%	745	3,549	1,104 （▲11）	31% （▲1%）	788 （+44）

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、年間の玄米仕入数量が500トン以上の出荷業者。

2 仕入計画数量は、卸売業者や小売業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入（集荷）計画数量（見込含む）として調査。

3 播種前契約は、生産年の3月末までに締結した事前契約（確認書等により販売数量が決定しているもの。）をいう。

4 複数年契約は、播種前契約のうち、複数年にわたる契約をいう。

5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

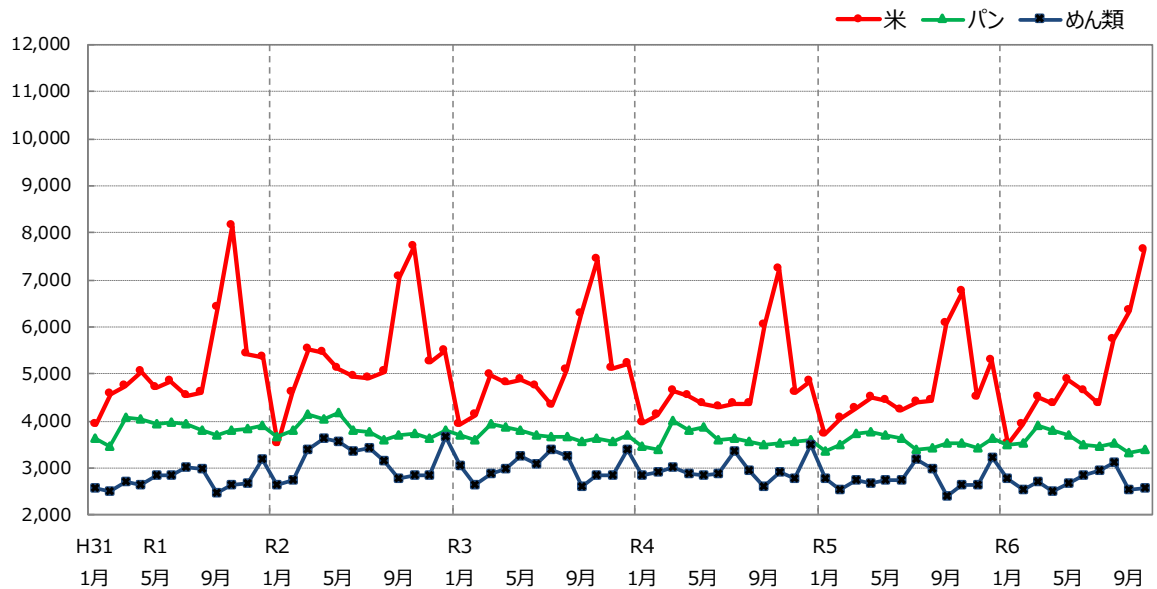
6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

エ 米の販売・消費動向

(ア) 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

- 総務省が公表している家計調査によると、令和6年10月の米の購入数量は、対前年同月比+13.3%の7.7kg、パンは▲4.7%の3.4kg、めん類は▲2.3%の2.6kg。

1世帯当たり1か月間の購入数量の推移



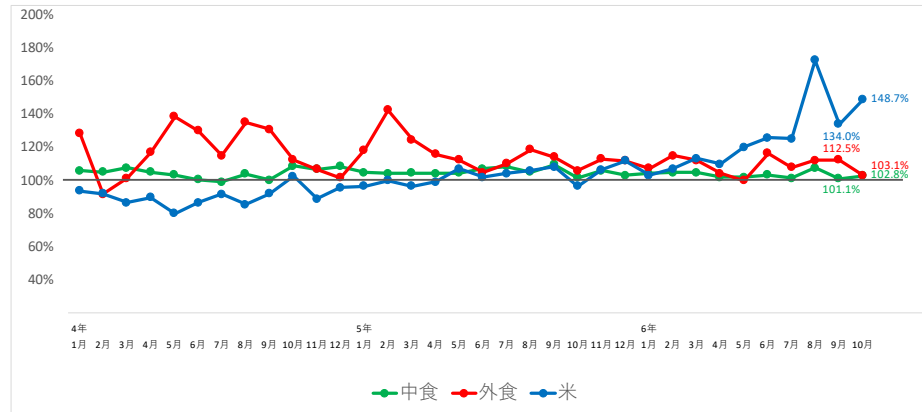
	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
2年	64,530	103.7%	45,857	99.7%	38,021	114.6%
3年	60,800	94.2%	44,345	96.7%	36,208	95.2%
4年	57,380	94.4%	43,571	98.3%	35,557	98.2%
5年	56,650	98.7%	42,680	98.0%	33,345	93.8%
令和6年 1月	3,520	94.6%	3,502	103.9%	2,773	99.2%
2月	3,920	96.6%	3,546	101.2%	2,555	100.0%
3月	4,490	105.6%	3,894	104.0%	2,721	99.6%
4月	4,380	97.1%	3,814	101.4%	2,515	94.1%
5月	4,870	109.4%	3,685	99.7%	2,678	97.7%
6月	4,640	109.7%	3,511	96.9%	2,852	103.7%
7月	4,370	99.5%	3,460	102.3%	2,965	93.4%
8月	5,730	129.1%	3,547	103.8%	3,136	104.6%
9月	6,350	104.8%	3,340	94.9%	2,557	107.0%
10月	7,650	113.3%	3,381	95.3%	2,585	97.7%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：米は精米ベースである。

- ・ 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和6年10月の中食の支出金額は、対前年同月比+2.8%、外食は+3.1%。

1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



	穀類	中食 (主食的調理食品)				弁当	すし (弁当)	おにぎり・ その他	調理パン	他の主食 的調理食品
		米	パン	麺類	他の 穀類					
4年 1月	97.5%	93.7%	99.6%	98.7%	94.3%	106.0%	102.9%	104.3%	112.1%	114.2%
2月	101.1%	92.1%	102.3%	107.6%	104.7%	105.1%	101.6%	104.6%	105.5%	107.5%
3月	98.8%	86.6%	103.2%	104.0%	104.5%	107.6%	104.8%	105.1%	107.0%	108.0%
4月	97.6%	89.8%	100.8%	99.6%	101.3%	105.0%	104.3%	105.8%	109.9%	99.6%
5月	93.9%	80.1%	102.2%	95.7%	92.1%	103.3%	98.8%	102.1%	111.9%	96.9%
6月	95.9%	86.6%	103.7%	94.8%	91.6%	100.5%	98.5%	95.1%	105.9%	103.7%
7月	100.2%	91.9%	104.1%	101.1%	104.8%	99.2%	90.8%	97.9%	105.1%	98.9%
8月	98.6%	85.6%	105.0%	102.6%	98.2%	104.0%	103.6%	101.0%	107.1%	102.7%
9月	99.2%	91.9%	103.1%	101.9%	104.6%	100.1%	100.1%	92.3%	105.5%	96.7%
10月	105.8%	102.4%	107.5%	107.3%	109.1%	108.7%	107.7%	106.8%	112.7%	108.1%
11月	101.5%	88.9%	107.7%	105.1%	105.6%	106.8%	106.7%	101.2%	112.6%	105.5%
12月	103.0%	95.6%	104.9%	109.4%	100.2%	108.4%	105.3%	107.7%	112.1%	104.6%
5年 1月	102.8%	96.7%	105.5%	104.0%	102.8%	104.8%	105.3%	96.6%	113.2%	106.4%
2月	100.0%	100.1%	102.8%	96.2%	96.7%	104.3%	100.2%	103.6%	116.7%	106.7%
3月	100.3%	96.6%	102.8%	99.4%	100.9%	104.4%	104.3%	103.7%	111.0%	106.5%
4月	102.6%	99.1%	103.1%	103.6%	109.0%	104.3%	99.8%	105.6%	113.9%	110.8%
5月	103.8%	107.1%	102.2%	103.0%	107.0%	104.6%	105.4%	98.3%	118.5%	110.4%
6月	103.3%	102.0%	104.8%	101.3%	107.5%	107.0%	105.9%	106.1%	121.0%	102.2%
7月	104.1%	104.1%	103.0%	106.8%	98.1%	108.4%	108.4%	106.1%	114.2%	105.6%
8月	104.4%	105.9%	103.0%	107.2%	95.2%	105.1%	100.5%	101.2%	121.5%	103.0%
9月	103.8%	108.3%	103.9%	101.2%	91.4%	109.7%	103.7%	116.9%	118.4%	111.4%
10月	100.9%	96.7%	105.0%	102.7%	92.3%	101.8%	98.7%	97.8%	108.0%	102.2%
11月	106.0%	106.6%	106.4%	105.8%	102.6%	105.8%	102.3%	103.7%	108.4%	106.7%
12月	105.9%	111.9%	108.3%	101.3%	99.9%	103.1%	102.2%	99.9%	108.4%	107.8%
6年 1月	103.2%	103.0%	105.2%	101.7%	98.1%	104.3%	101.0%	107.0%	103.8%	101.6%
2月	106.8%	107.2%	107.3%	105.7%	107.1%	104.8%	100.3%	102.4%	109.1%	108.5%
3月	108.8%	113.3%	107.2%	108.5%	105.6%	104.7%	96.5%	100.2%	112.5%	101.0%
4月	103.6%	109.8%	103.0%	100.2%	96.9%	101.9%	99.9%	96.4%	104.7%	103.3%
5月	105.7%	120.1%	100.8%	101.8%	100.3%	101.9%	99.2%	100.2%	102.9%	103.9%
6月	109.4%	125.8%	102.0%	107.1%	106.8%	103.3%	102.3%	104.7%	99.8%	106.9%
7月	106.2%	125.3%	101.7%	97.8%	105.2%	101.3%	103.9%	98.5%	101.6%	104.6%
8月	122.4%	172.5%	104.3%	106.1%	124.2%	107.5%	110.8%	106.7%	99.0%	108.1%
9月	110.8%	134.0%	98.7%	100.6%	107.5%	101.1%	103.3%	98.5%	104.4%	104.0%
10月	115.1%	148.7%	98.1%	99.2%	107.1%	102.8%	102.6%	106.0%	103.4%	104.9%

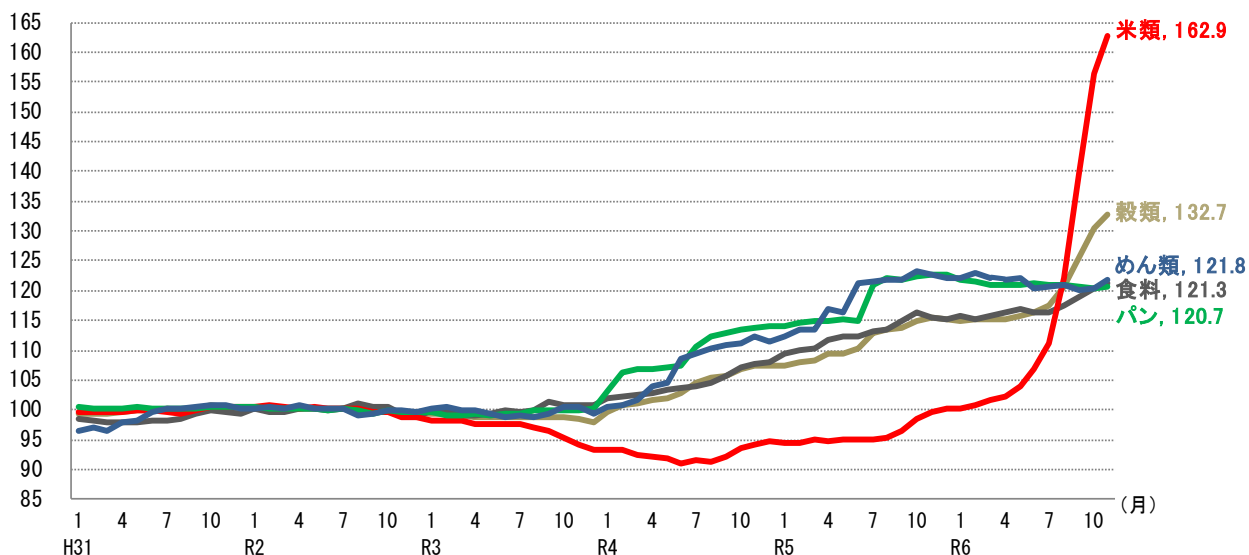
	外食 (食事代)	中食 (主食的調理食品)				和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバー ガー	他の主食 的調理食品
		日本そば・ うどん	中華そば	他の麺 類外食	すし (外食)						
4年 1月	128.6%	128.6%	122.5%	119.3%	119.3%	142.6%	131.5%	129.8%	162.6%	97.1%	128.6%
2月	91.8%	99.1%	98.2%	89.3%	82.6%	90.5%	90.5%	94.0%	69.1%	112.2%	93.7%
3月	101.3%	107.4%	102.5%	124.2%	98.8%	99.9%	98.2%	100.1%	92.1%	105.9%	102.6%
4月	117.1%	126.8%	98.3%	120.7%	103.5%	116.5%	116.7%	114.5%	111.0%	109.3%	127.1%
5月	138.4%	134.8%	121.2%	140.5%	112.6%	138.1%	129.3%	164.5%	220.4%	91.4%	146.7%
6月	130.1%	126.8%	115.7%	121.6%	111.9%	132.0%	117.0%	129.8%	133.9%	95.8%	145.7%
7月	115.1%	108.5%	106.6%	128.8%	108.6%	110.4%	103.8%	130.7%	101.6%	103.6%	123.3%
8月	135.1%	136.5%	134.0%	165.6%	118.9%	133.5%	121.9%	145.9%	145.8%	100.6%	144.9%
9月	130.8%	125.3%	125.5%	120.4%	118.0%	133.1%	107.2%	140.0%	179.4%	90.2%	139.4%
10月	112.3%	116.2%	129.9%	116.3%	107.5%	122.4%	112.7%	106.8%	105.9%	104.6%	109.6%
11月	106.9%	110.2%	106.8%	106.3%	104.1%	104.2%	113.0%	117.2%	102.5%	110.0%	106.1%
12月	101.7%	107.8%	112.6%	93.1%	102.8%	101.9%	103.6%	100.9%	98.3%	117.2%	98.3%
5年 1月	118.3%	114.1%	137.4%	119.3%	109.2%	117.2%	103.9%	137.3%	119.9%	115.7%	118.1%
2月	142.4%	137.4%	142.5%	142.7%	129.2%	143.9%	135.8%	147.1%	204.6%	97.5%	147.9%
3月	124.6%	127.2%	127.7%	119.5%	115.4%	126.8%	125.6%	127.0%	108.0%	98.6%	132.1%
4月	115.8%	115.4%	130.8%	125.4%	103.8%	110.6%	134.5%	121.8%	127.7%	108.5%	115.7%
5月	112.4%	110.3%	125.1%	106.3%	111.0%	114.4%	110.3%	108.0%	100.5%	100.7%	115.8%
6月	104.7%	111.7%	120.2%	108.9%	100.9%	107.4%	106.3%	106.8%	114.6%	101.3%	99.9%
7月	110.0%	119.7%	122.2%	116.9%	110.0%	112.6%	118.7%	119.0%	119.6%	104.1%	102.4%
8月	118.8%	122.1%	117.0%	134.9%	112.4%	121.8%	119.6%	122.4%	130.8%	100.7%	118.0%
9月	114.0%	105.8%	116.9%	123.5%	112.9%	117.7%	124.0%	121.2%	111.1%	110.2%	111.4%
10月	106.0%	103.5%	107.5%	104.1%	99.6%	108.0%	99.0%	112.9%	98.2%	107.9%	107.5%
11月	113.0%	113.7%	125.8%	113.2%	100.0%	117.1%	117.1%	109.9%	114.5%	107.4%	113.5%
12月	112.0%	111.8%	105.1%	116.8%	110.0%	104.4%	110.8%	117.8%	102.4%	101.3%	119.1%
6年 1月	107.3%	118.0%	109.9%	126.0%	93.6%	104.9%	122.5%	98.7%	115.1%	96.6%	112.5%
2月	115.1%	113.2%	116.8%	143.1%	106.8%	119.0%	112.9%	116.1%	131.8%	117.7%	111.4%
3月	112.3%	111.1%	115.9%	127.8%	100.1%	118.9%	104.3%	125.5%	132.2%	124.7%	105.4%
4月	104.3%	114.3%	107.1%	104.2%	102.7%	112.0%	99.1%	103.4%	81.9%	103.6%	104.2%
5月	100.0%	104.7%	103.3%	121.3%	90.5%	109.3%	100.5%	101.2%	85.0%	110.9%	97.5%
6月	116.4%	115.7%	113.3%	118.4%	113.6%	114.4%	116.0%	118.4%	120.0%	135.6%	115.7%
7月	108.0%	100.5%	108.5%	102.1%	100.2%	110.5%	98.7%	102.6%	95.9%	103.5%	115.1%
8月	112.1%	107.4%	115.9%	103.1%	104.8%	116.1%	106.2%	123.2%	104.6%	114.3%	112.3%
9月	112.5%	118.9%	109.7%	115.0%	118.4%	114.7%	107.5%	106.1%	111.0%	116.2%	111.1%
10月	103.1%	107.7%	108.2%	124.3%	107.8%	101.0%	96.3%	106.5%	90.5%	90.6%	103.4%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：米は精米ベースである。

(イ) 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数（令和2年基準）によると、令和6年11月の米類の指数は対前年同月比 +63.6%の162.9ポイント。



（令和2年=100、指数）

	食料		穀類		米類 （うるち米）		うるち米 （コシヒカリ）		パン		めん類	
		対前年 （同月）比		対前年 （同月）比		対前年 （同月）比		対前年 （同月）比		対前年 （同月）比		対前年 （同月）比
令和元年（平均）	98.7	0.4%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	0.9%	99.1	2.2%
2年（平均）	100.0	1.4%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	▲0.3%	100.0	1.0%
3年（平均）	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	▲0.5%	99.7	▲0.3%
4年（平均）	104.5	4.5%	103.7	5.0%	92.6	▲4.3%	93.3	▲3.5%	109.6	10.1%	107.1	7.4%
5年（平均）	112.9	8.1%	111.5	7.5%	96.1	3.8%	96.3	3.2%	118.4	8.1%	118.9	11.1%
令和6年 1月	115.7	5.7%	115.0	7.0%	100.3	6.2%	100.1	5.3%	121.8	6.9%	122.1	8.7%
2月	115.3	4.8%	115.3	6.6%	100.9	6.8%	100.2	5.3%	121.4	6.0%	123.1	8.4%
3月	115.7	4.8%	115.2	6.3%	101.7	7.2%	100.8	5.8%	121.0	5.4%	122.2	7.6%
4月	116.4	4.3%	115.1	5.3%	102.2	7.9%	100.8	5.8%	121.0	5.2%	121.9	4.2%
5月	116.8	4.1%	115.8	6.0%	103.9	9.5%	102.0	8.1%	121.1	5.2%	122.1	4.9%
6月	116.3	3.6%	116.3	5.4%	106.7	12.3%	104.6	9.7%	121.3	5.5%	120.3	▲0.8%
7月	116.4	2.9%	117.5	4.2%	111.3	17.2%	109.6	15.6%	120.9	0.0%	120.6	▲0.8%
8月	117.6	3.6%	120.8	6.5%	122.1	28.3%	119.8	25.6%	120.9	▲0.9%	120.9	▲0.7%
9月	119.0	3.4%	125.6	10.4%	139.6	44.7%	137.4	41.9%	120.7	▲0.9%	120.2	▲1.3%
10月	120.4	3.5%	130.4	13.5%	156.3	58.9%	153.8	56.5%	120.4	▲1.6%	120.5	▲2.3%
11月	121.3	4.8%	132.7	15.0%	162.9	63.6%	161.0	61.6%	120.7	▲1.7%	121.8	▲0.7%

資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

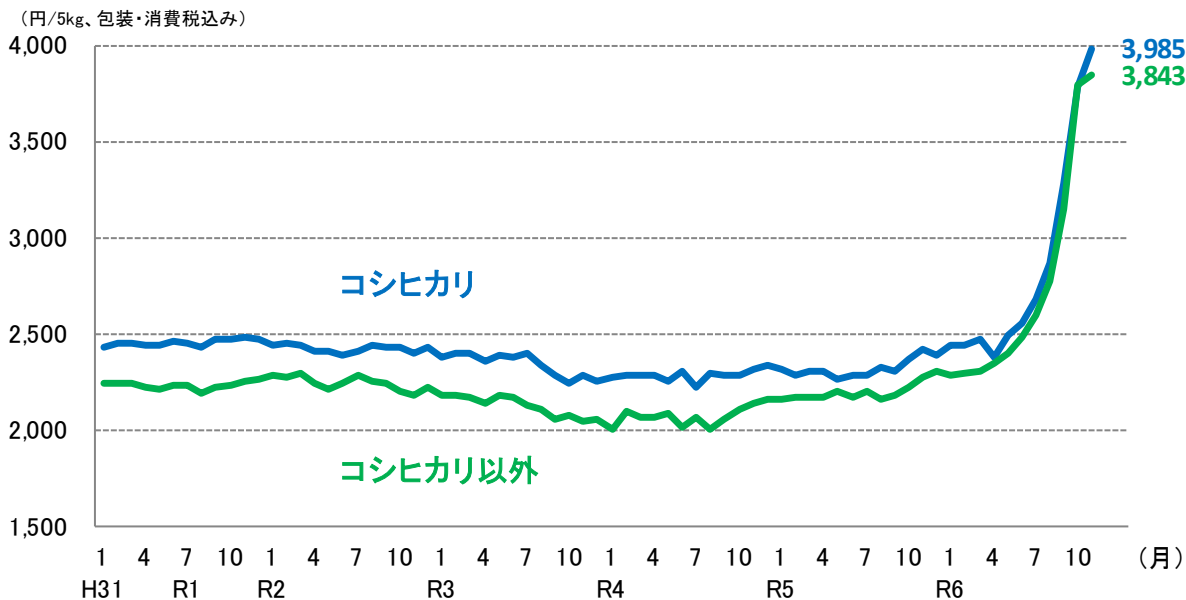
注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。

2：穀類は、米類（うるち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。

3：令和元年～5年のデータは年平均、6年は月次データである。

(ウ) 小売物価統計の推移

- ・ 総務省が公表している小売物価統計によると、令和6年11月のうるち米の小売価格（5kg 当たり）は、コシヒカリで対前年同月比+64.5%の3,985 円。
- ・ コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+68.6%の3,843 円。



(円/5kg、包装・消費税込み)

年平均	R1	R2	R3	R4	R5
コシヒカリ	2,457	2,426	2,344	2,288	2,323
前年比	0.2%	▲1.3%	▲3.4%	▲2.4%	1.5%
コシヒカリ以外	2,234	2,246	2,127	2,076	2,203
前年比	0.1%	0.5%	▲5.3%	▲2.4%	6.1%

月次(令和4年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,272	2,287	2,290	2,292	2,253	2,308	2,227	2,294	2,292	2,284	2,323	2,336
前年同月比	▲4.6%	▲4.9%	▲4.5%	▲2.8%	▲5.8%	▲3.2%	▲7.1%	▲1.8%	0.2%	1.6%	1.5%	3.5%
コシヒカリ以外	2,010	2,103	2,068	2,067	2,086	2,020	2,072	2,004	2,061	2,114	2,143	2,161
前年同月比	▲7.8%	▲3.6%	▲5.0%	▲3.5%	▲4.3%	▲7.1%	▲2.8%	▲5.2%	0.3%	1.8%	4.4%	5.0%

月次(令和5年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,319	2,292	2,306	2,303	2,271	2,283	2,289	2,333	2,310	2,367	2,422	2,386
前年同月比	2.1%	0.2%	0.7%	0.5%	0.8%	▲1.1%	2.8%	1.7%	0.8%	3.6%	4.3%	2.1%
コシヒカリ以外	2,165	2,169	2,177	2,177	2,201	2,171	2,205	2,162	2,188	2,225	2,279	2,311
前年同月比	7.7%	3.1%	5.3%	5.3%	5.5%	7.5%	6.4%	7.9%	6.2%	5.3%	6.3%	6.9%

月次(令和6年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,440	2,441	2,470	2,384	2,490	2,561	2,683	2,871	3,285	3,787	3,985	
前年同月比	5.2%	6.5%	7.1%	3.5%	9.6%	12.2%	17.2%	23.1%	42.2%	60.0%	64.5%	
コシヒカリ以外	2,283	2,300	2,306	2,347	2,403	2,483	2,602	2,772	3,152	3,792	3,843	
前年同月比	5.5%	6.0%	5.9%	7.8%	9.2%	14.4%	18.0%	28.2%	44.1%	70.4%	68.6%	

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（7日以内の特売分を除く）。

(エ) 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向（速報）

- 米穀販売事業者における令和6年10月の販売数量は、対前年同月比で小売事業者向けが85%、中食・外食事業者等向けが100%で、全体としては92%となっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じているが、令和元年10月の販売数量と比較すると93%となる。
- 前年同月を基準にした令和6年10月の販売価格の値動きは、小売事業者向け157.0、中食・外食事業者等向け121.7。

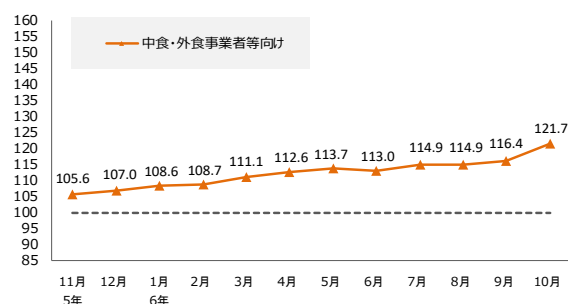
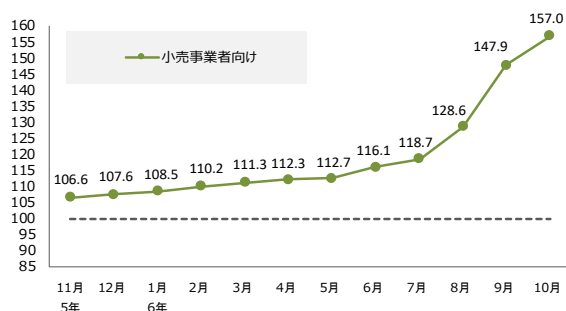
1 販売数量の動向（前年同月比）

	5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月 ～12月計
小売事業者向け	100%	101%	98%	101%	107%	100%	102%	104%	103%	105%	105%	104%	102%
(※令和元年との比較)	(104%)	(103%)	(102%)	(101%)	(108%)	(101%)	(99%)	(107%)	(100%)	(102%)	(104%)	(108%)	(103%)
中食・外食事業者等向け	103%	107%	103%	102%	106%	104%	107%	106%	105%	105%	105%	102%	105%
(※令和元年との比較)	(93%)	(94%)	(94%)	(95%)	(99%)	(99%)	(97%)	(97%)	(102%)	(100%)	(100%)	(98%)	(97%)
販売数量計	101%	104%	100%	101%	107%	102%	104%	105%	104%	105%	105%	103%	103%
(※令和元年との比較)	(99%)	(99%)	(98%)	(98%)	(104%)	(101%)	(98%)	(102%)	(101%)	(101%)	(102%)	(103%)	(101%)

	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月 ～12月計
小売事業者向け	106%	108%	107%	108%	106%	114%	104%	100%	86%	85%			
(※令和元年との比較)	(110%)	(111%)	(108%)	(109%)	(114%)	(116%)	(104%)	(107%)	(87%)	(86%)			
中食・外食事業者等向け	103%	106%	100%	99%	103%	98%	99%	100%	97%	100%			
(※令和元年との比較)	(96%)	(100%)	(95%)	(94%)	(102%)	(97%)	(97%)	(97%)	(98%)	(100%)			
販売数量計	105%	107%	104%	104%	105%	107%	102%	100%	91%	92%			
(※令和元年との比較)	(103%)	(106%)	(102%)	(102%)	(108%)	(107%)	(100%)	(102%)	(92%)	(93%)			

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象事業者は、年間玄米仕入数量50,000トン以上の販売事業者である。

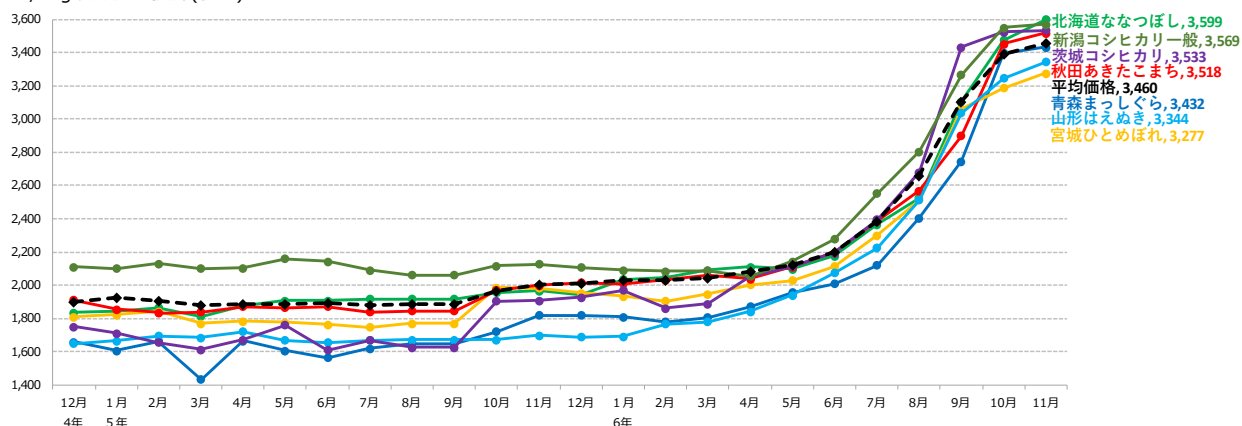
注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

(オ) 小売価格・販売数量等の推移 (POSデータ)

- 令和6年11月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg 当たり)は、対前月差+65円(+1.9%)、対前年同月差+1,457円(+72.7%)の3,460円。

円/5kg 袋販売時換算(税込)



資料：(株)KSP-SP が提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SP が提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

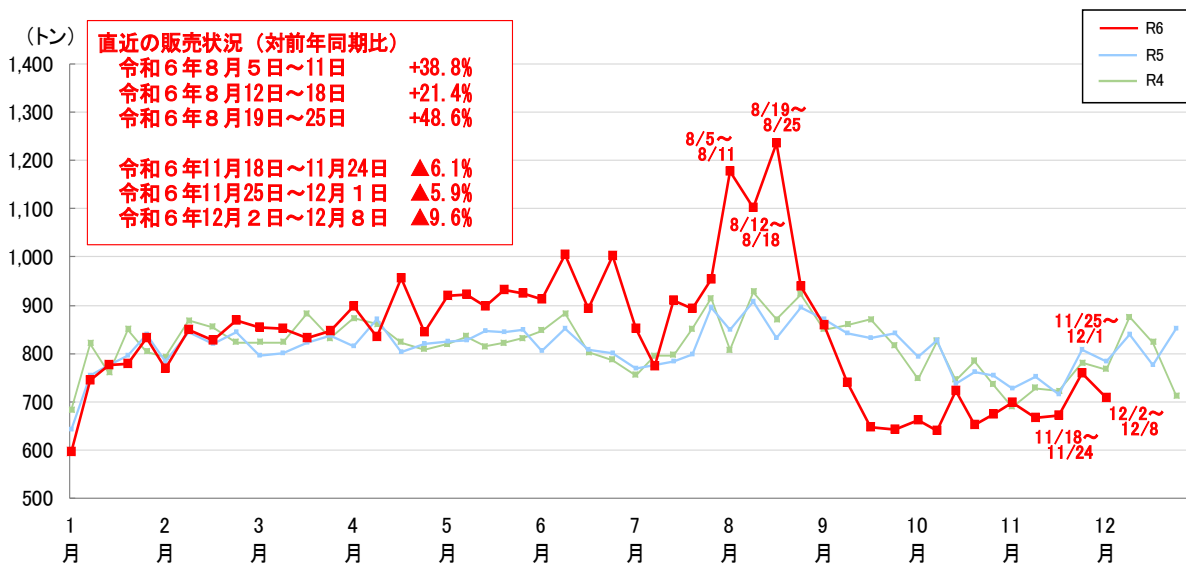
注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注5：価格に含む消費税は8%である。

- 令和6年4月以降の販売量は、令和4年及び5年と比較して堅調に推移。
- 令和6年8月は南海トラフ地震臨時情報(8月8日発表)、その後の地震、台風等による買い込み需要が発生したこと等により、8月5日以降伸びが著しい週が3週継続。9月2日以降の週は前年を下回る水準で推移し、12月2日の週は対前年同期▲10%。



うるち精米の主な銘柄の月別価格・販売数量

単位：円/5kg 袋販売時換算（消費税込み）、トン

	販 売 価 格															販売数量	
	5 年	1 2 月	6 年	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	前月差	前年同月差	6 年	5年12月
	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	前月差	前年同月差	11月	～6年11月
北海道 ななつぼし	1,966	1,940	2,034	2,044	2,090	2,111	2,098	2,175	2,365	2,525	3,107	3,477	3,599	+ 122	+ 1,633	272	3,957
北海道 ゆめびりか	2,357	2,408	2,446	2,469	2,502	2,538	2,524	2,476	2,618	2,853	3,555	3,766	3,865	+ 99	+ 1,508	184	2,439
北海道 ふっくらりんこ	2,242	2,217	2,277	2,329	2,355	2,367	2,374	2,389	2,489	2,709	2,829	3,635	3,677	+ 42	+ 1,435	26	327
北海道 きらら397	2,057	2,003	2,056	2,017	2,075	2,152	2,178	2,260	2,422	2,586	2,679	3,283	3,625	+ 342	+ 1,568	1	103
北海道 きたくりん	1,961	1,965	2,002	2,035	1,919	1,933	2,022	2,070	2,252	2,511	2,577	3,264	3,409	+ 145	+ 1,448	11	130
青森 青天の霹靂	2,283	2,263	2,275	2,276	2,287	2,288	2,193	2,289	2,446	2,641	2,794	3,461	3,673	+ 212	+ 1,390	19	330
青森 まっしぐら	1,820	1,818	1,810	1,782	1,808	1,871	1,956	2,008	2,119	2,407	2,745	3,398	3,432	+ 34	+ 1,612	19	365
青森 つがるロマン	2,021	2,005	1,966	1,992	1,972	2,005	2,002	2,052	2,115	2,191	3,030	3,073	2,487	▲ 586	+ 466	0	97
岩手 ひとめぼれ	2,035	2,055	2,063	2,060	2,022	2,021	2,045	2,097	2,221	2,401	2,615	3,294	3,297	+ 3	+ 1,262	54	906
岩手 銀河のしずく	2,036	2,057	2,057	2,056	2,051	2,056	2,092	2,073	2,184	2,367	2,696	3,241	3,261	+ 20	+ 1,225	53	717
宮城 ひとめぼれ	1,983	1,954	1,934	1,903	1,948	2,002	2,030	2,114	2,301	2,514	3,060	3,188	3,277	+ 89	+ 1,294	108	1,626
宮城 つや姫	2,076	2,084	2,079	2,068	2,080	2,143	2,122	2,203	2,320	2,566	2,751	3,579	3,438	▲ 141	+ 1,362	18	271
宮城 だて正夢	2,204	2,239	2,232	2,222	2,222	2,237	2,217	2,235	2,426	2,678	2,696	3,435	3,368	▲ 67	+ 1,164	9	143
秋田 あきたこまち	2,000	2,017	2,011	2,031	2,058	2,039	2,112	2,195	2,385	2,570	2,899	3,453	3,518	+ 65	+ 1,518	142	2,092
山形 つや姫	2,344	2,380	2,371	2,425	2,408	2,428	2,405	2,492	2,654	2,844	2,979	3,731	3,736	+ 5	+ 1,392	69	948
山形 はえぬき	1,698	1,689	1,691	1,767	1,780	1,843	1,941	2,076	2,224	2,513	3,037	3,246	3,344	+ 98	+ 1,646	91	817
山形 雪若丸	2,048	2,007	1,989	2,005	2,039	2,102	2,093	2,215	2,186	2,505	3,190	3,352	3,366	+ 14	+ 1,318	15	260
茨城 コシヒカリ	1,906	1,926	1,970	1,862	1,887	2,056	2,112	2,195	2,394	2,681	3,431	3,523	3,533	+ 10	+ 1,627	58	734
茨城 あきたこまち	1,820	1,816	1,813	1,858	1,716	1,897	1,970	2,008	2,284	3,134	3,315	3,327	3,469	+ 142	+ 1,649	6	394
栃木 コシヒカリ	1,993	1,989	1,715	1,993	1,989	2,004	2,085	2,152	2,284	2,502	3,199	3,521	3,370	▲ 151	+ 1,377	48	562
栃木 とちぎの星	1,942	1,631	1,861	1,980	1,653	1,900	1,809	1,918	2,115	2,406	2,698	3,149	3,114	▲ 35	+ 1,172	22	202
千葉 ふさおとめ	1,863	1,905	1,949	1,943	1,892	2,084	2,149	2,279	2,346	2,963	3,237	3,399	3,356	▲ 43	+ 1,493	38	498
千葉 コシヒカリ	1,989	1,992	2,054	2,034	2,047	2,137	2,235	2,349	2,547	2,920	3,315	3,438	3,527	+ 89	+ 1,538	22	485
千葉 ふさこがね	1,728	1,730	1,750	1,744	1,714	1,844	1,896	2,178	2,337	3,073	3,199	3,193	3,106	▲ 39	+ 1,378	21	278
山梨 コシヒカリ	2,246	2,290	2,286	2,266	2,291	2,334	2,354	2,393	2,559	2,780	2,987	3,554	3,636	+ 82	+ 1,390	13	202
長野 コシヒカリ	1,934	1,814	1,856	1,809	1,817	1,811	1,925	2,068	2,245	2,488	2,871	3,174	3,134	▲ 40	+ 1,200	49	637
新潟 コシヒカリ 一般	2,127	2,108	2,093	2,085	2,087	2,054	2,144	2,279	2,551	2,806	3,266	3,550	3,569	+ 19	+ 1,442	203	3,006
新潟 コシヒカリ 魚沼	2,689	2,593	2,582	2,667	2,727	2,653	2,644	2,756	2,885	3,095	3,422	3,915	3,779	▲ 136	+ 1,090	51	629
新潟 コシヒカリ 佐渡	2,182	2,225	2,232	2,234	2,164	2,224	2,270	2,344	2,501	2,872	2,840	3,568	3,627	+ 59	+ 1,445	6	148
新潟 みずほの輝き	1,982	1,987	1,996	1,992	2,051	2,101	2,123	2,218	2,351	2,424	2,748	3,387	3,390	+ 3	+ 1,408	61	621
新潟 こしいぶき	1,953	1,913	1,867	1,759	1,880	2,032	2,130	2,112	2,244	2,549	3,200	3,202	3,370	+ 168	+ 1,417	35	469
新潟 新之助	2,455	2,502	2,380	2,448	2,692	2,671	2,637	2,773	2,743	3,112	4,130	4,832	4,254	▲ 578	+ 1,799	25	373
富山 コシヒカリ	1,977	2,040	2,039	2,060	2,027	2,088	2,076	2,182	2,359	2,546	3,089	3,438	3,400	▲ 38	+ 1,423	103	1,356
富山 てんたかく	1,972	1,850	1,969	1,895	2,000	1,996	2,053	2,154	2,403	2,703	3,263	3,339	3,463	+ 124	+ 1,491	18	188
石川 コシヒカリ	2,051	2,032	2,018	1,997	2,000	2,028	2,059	2,109	2,268	2,497	2,973	2,990	3,012	+ 22	+ 961	56	746
石川 ひゃくまん穀	2,108	2,102	2,103	2,113	2,115	2,113	2,124	2,254	2,273	2,289	3,067	3,044	3,033	▲ 11	+ 925	22	295
石川 ゆめみづほ	1,840	1,945	1,836	1,858	1,836	1,867	1,874	1,908	2,113	2,576	2,905	2,835	2,676	▲ 159	+ 836	22	275
福井 ハナエチゼン	1,308	1,280	1,543	1,455	1,698	1,831	2,033	2,090	2,275	3,007	3,216	3,309	3,291	▲ 18	+ 1,983	11	220
福井 いちほまれ	2,265	2,179	2,273	2,285	2,291	2,302	2,300	2,331	2,502	2,441	3,162	3,691	3,799	+ 108	+ 1,534	11	197
福井 コシヒカリ	2,070	2,077	2,056	2,108	2,113	2,049	2,014	2,155	2,331	2,541	3,549	3,472	3,400	▲ 72	+ 1,330	14	170
愛知 コシヒカリ	2,121	2,096	2,096	2,008	2,120	2,210	2,258	2,337	2,583	3,057	3,510	3,465	3,604	+ 139	+ 1,483	10	201
三重 コシヒカリ 一般	1,861	1,891	1,874	1,977	1,955	2,015	2,063	2,119	2,264	2,987	3,207	3,327	3,475	+ 148	+ 1,614	27	452
三重 コシヒカリ 伊賀	2,082	2,117	2,131	2,107	2,120	2,104	2,178	2,220	2,356	2,481	3,214	3,416	3,523	+ 107	+ 1,441	18	270
滋賀 みずかがみ	1,949	2,015	2,028	2,032	2,267	2,378	2,414	2,432	2,562	2,691	3,316	3,348	3,649	+ 301	+ 1,700	5	101
徳島 あきさかり	1,781	1,790	1,822	1,789	1,979	2,014	2,025	2,061	2,106	2,054	2,735	2,968	3,299	+ 331	+ 1,518	7	75
愛媛 コシヒカリ	2,063	2,083	2,079	2,085	2,121	2,121	2,144	2,172	2,217	2,452	2,880	2,915	3,260	+ 345	+ 1,197	15	172
福岡 元気つくし	2,029	2,011	2,095	2,094	2,045	2,071	2,131	2,283	2,520	2,693	3,052	3,587	3,599	+ 12	+ 1,570	28	376
福岡 夢つくし	1,915	2,001	2,048	1,965	2,061	2,119	2,157	2,230	2,421	2,607	3,438	3,455	3,467	+ 12	+ 1,552	29	295
佐賀 夢しずく	1,893	1,918	1,941	1,916	1,895	1,946	1,979	2,097	2,397	2,591	2,792	3,295	3,351	+ 56	+ 1,458	20	225
佐賀 さがびより	1,904	1,975	1,961	1,973	1,949	2,039	1,999	2,116	2,420	2,570	2,938	3,054	3,506	+ 452	+ 1,602	17	353
大分 ヒノヒカリ	1,901	1,947	1,932	1,906	1,919	1,929	1,984	2,060	2,273	2,450	2,475	3,417	3,590	+ 173	+ 1,689	9	158
宮崎 ヒノヒカリ	1,795	1,770	1,777	1,800	1,811	1,845	1,925	2,050	2,391	2,786	2,924	3,200	3,349	+ 149	+ 1,554	13	232
宮崎 コシヒカリ	1,612	1,564	1,432	1,265	1,299	1,360	1,386	1,397	2,595	2,847	2,897	3,211	2,264	▲ 947	+ 652	2	231
全POS取引平均価格	2,003	2,013	2,030	2,029	2,042	2,083	2,122	2,201	2,383	2,656	3,105	3,395	3,460	+ 65	+ 1,457		
全POS取引数量(トン)	3,096	3,691	3,161	3,372	3,897	3,786	3,951	4,289	3,804	4,959	3,113	2,907	2,973	+ 66	▲ 123	2,973	43,901

(参考：ドラッグストア)

全POS取引平均価格	1,813	1,836	1,847	1,836	1,875	1,921	1,961	1,996	2,152	2,480	2,829	3,135	3,273	+ 138	+ 1,460
------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---------

資料：(株)KSP-SP が提供する P O Sデータに基づいて農林水産省が作成

注 1：(株)KSP-SP が提供する P O Sデータは、全国約 1,000 店舗のスーパー、生協等（ドラッグストアは約 400 店舗）から購入したデータに基づくものである。

注 2： POS データは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

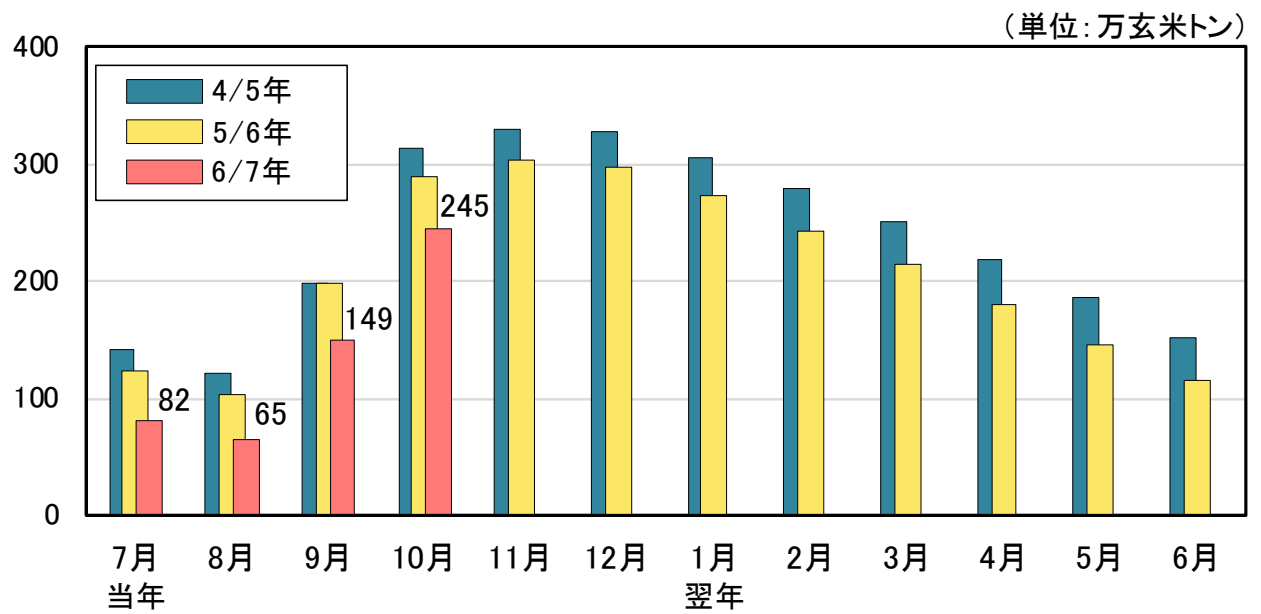
注 3： POS データの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注 4： 全 POS 取引平均価格は、POS データで把握できる 全ての精米の販売について 5 kg 袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注 5： 価格に含む消費税は 8%である。

オ 米の民間在庫情報

- 令和6年10月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差▲45万トンの245万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差▲48万トンの187万トン、販売段階で+4万トンの57万トンとなっている。



【令和6年 10 月末民間在庫量のポイント】

- 毎月公表している民間在庫量は、①500 トン以上の集荷業者、②4,000 トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の 75% をカバー(下記参考参照)。
- 令和6年 10 月末の民間在庫量は、前月公表値から修正が生じた 9 月末の対前年差 ▲51 万トンから ▲45 万トンと減少幅は縮小したものの、10 月末在庫としては近年では最も低い水準の 245 万トンとなった。
- これについては、令和6年産の生産量(10 月 25 日現在)が 679 万トンと前年産より 18 万トン多い中で、出荷段階で対前年差 ▲48 万トン、販売段階で同 +4 万トンとなっていることを踏まえれば、報告対象となっている集荷業者の集荷が前年に比べ減少していることが主な要因と考えられる。

※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。

10月末民間在庫量・在庫率



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。

○ 出荷・販売段階別の民間在庫量 (単位: 万トン)

	6年 9 月末	6年10月末
出荷段階	113	187
対前年差	▲ 49	▲ 48
販売段階	36	57
対前年差	▲ 2	4
合 計	149	245
対前年差	▲ 51	▲ 45

※出荷段階は玄米仕入数量が 500 トン以上の集荷業者等
販売段階は玄米仕入数量が 4,000 トン以上の卸売業者等

○ 集荷業者の集荷数量

(単位: 万トン)

	集荷数量	前年比
6年10月末	159.6	91%
5年10月末	174.9	

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

	出荷段階	販売段階		生産段階
	年間取扱 500トン以上	年間取扱 4,000トン以上	年間取扱 500 ~ 4,000トン	
うるち米	【毎月調査ベース】 6 月末在庫 11.5 万トン ↓ 10 月末在庫 24.5 万トン			
もち米				

【米の基本指針ベース】
153 万トン
(※ 6 月末のみ調査)

【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4年産米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1年古米(3年産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	104	199	289	303	298	274	244	214	180	145	115
対前年差	▲20	▲18	±0	▲23	▲26	▲31	▲32	▲36	▲37	▲39	▲40	▲38
5年産米	1	14	131	232	254	260	245	221	195	165	133	105
1年古米(4年産)	106	78	56	46	36	27	21	15	13	10	7	5
6/7年	82	65	149	245								
対前年差	▲40	▲39	▲51	▲45								
6年産米	1	13	112	214								
1年古米(5年産)	74	46	31	24								

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
4 期間については、6/7年であれば、令和6年7月～6年6月である。
5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2年産米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3年産米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1年古米(2年産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4年産米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1年古米(3年産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6年	95	78	161	235	249	246	228	202	171	139	112	84
対前年差	▲21	▲20	▲5	▲27	▲28	▲31	▲31	▲34	▲33	▲36	▲38	▲37
5年産米	0	10	113	200	220	225	212	190	163	134	108	81
1年古米(4年産)	86	61	42	30	24	17	13	10	6	4	3	2
6/7年	58	44	113	187								
対前年差	▲38	▲34	▲49	▲48								
6年産米	0	9	90	172								
1年古米(5年産)	55	33	21	13								

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

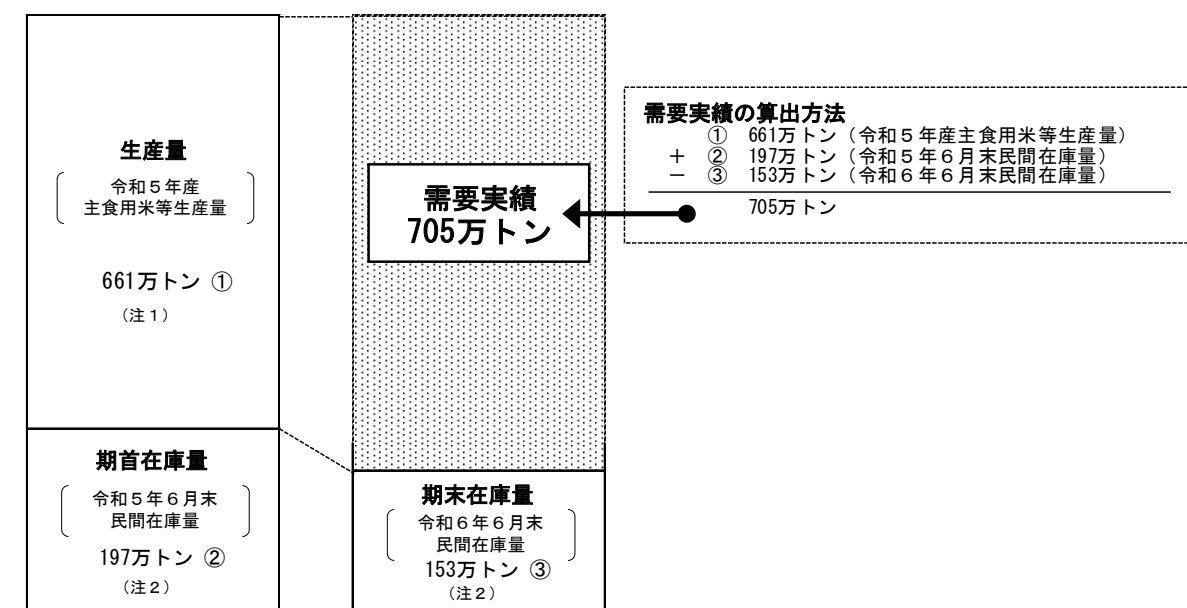
	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2年産米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3年産米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1年古米(2年産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4年産米	0	3	15	28	32	34	31	31	32	31	26	24
1年古米(3年産)	20	17	13	15	13	11	8	7	8	7	5	4
5/6年	27	26	38	54	54	52	46	42	43	41	34	31
対前年差	+1	+2	+5	+3	+2	±0	±0	▲3	▲3	▲3	▲3	▲2
5年産米	0	4	18	32	34	35	32	31	32	31	26	24
1年古米(4年産)	20	17	14	16	12	10	8	6	6	6	4	3
6/7年	25	21	36	57								
対前年差	▲3	▲5	▲2	+4								
6年産米	0	4	23	41								
1年古米(5年産)	19	13	9	11								

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

カ 主食用米等の需給見通し（米の基本指針（令和6年10月30日））

（1）令和5/6年の需要実績（確定値）

- 令和5/6年（令和5年7月から令和6年6月までの1年間）の需要実績（確定値）は、前年（691万トン）から14万トン増加し、705万トンとなります。
- 令和6年6月末民間在庫量は、前年から44万トン減少し153万トンとなります。



注1: 主食用米等生産量は、令和5年産水稻の収穫量(主食用)（「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）である。

注2: 6月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に水稻を作付けした生産者の在庫量推計値を加えたものである。

注3: ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

（参考）民間流通における6月末在庫量等の推移

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年 (速報値)
民間在庫	161	212	216	181	180	224	220	226	204	199	190	189	200	218	218	197	153
需要量との比率	18.8%	25.8%	26.5%	22.0%	22.1%	28.6%	28.0%	28.9%	26.6%	26.4%	25.7%	25.7%	28.0%	31.0%	31.0%	28.4%	21.7%

その他詳細な内容は、下記URL「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」をご覧ください。
URL: https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/index.html

(2) 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通し（推計値）

- 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通しについて、平成30年11月の基本指針において採用した下記手法により算出すると、令和6/7年は674万トン、令和7/8年は663万トンとなります。

【需要見通しの算出方法】

- 平成8/9年から令和5/6年までの需要実績をそれぞれ当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量を算出
- ①で算出した値を用いたトレンド（回帰式）で、令和6/7年（令和6年7月から令和7年6月まで）及び令和7/8年（令和7年7月から令和8年6月まで）の1人当たり消費量（推計値）を算出
- ②で算出した値に令和6年及び令和7年の人口（推計値）を乗じて算出

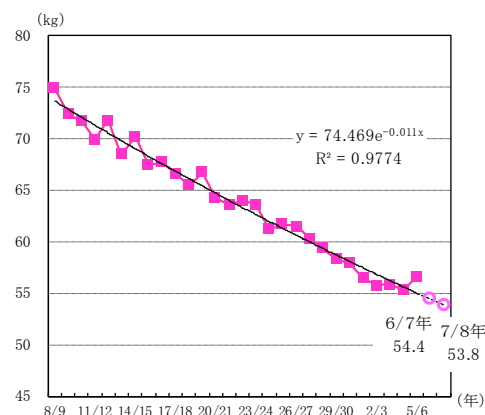
① 平成8/9年から令和5/6年までの1人当たり消費量を算出

年	需要実績 ①	人口 ②	1人当たり消費量 ①/②
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	127,042	59.4
29/30	739.6	126,919	58.3
30/元	734.6	126,749	58.0
元/2	714.4	126,555	56.4
2/3	704.0	126,146	55.8
3/4	701.5	125,502	55.9
4/5	691.1	124,947	55.3
5/6	704.9	124,352	56.7

注：人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値である。

② 令和6/7年及び令和7/8年の1人当たり消費量（推計値）を算出

年	x	1人当たり消費量(y)
8/9	1	75.0
9/10	2	72.4
10/11	3	71.7
11/12	4	69.9
12/13	5	71.8
13/14	6	68.5
14/15	7	70.2
15/16	8	67.5
16/17	9	67.7
17/18	10	66.7
18/19	11	65.5
19/20	12	66.7
20/21	13	64.3
21/22	14	63.6
22/23	15	64.0
23/24	16	63.6
24/25	17	61.2
25/26	18	61.7
26/27	19	61.5
27/28	20	60.3
28/29	21	59.4
29/30	22	58.3
30/元	23	58.0
元/2	24	56.4
2/3	25	55.8
3/4	26	55.9
4/5	27	55.3
5/6	28	56.7
6/7	29	54.4 (推計値)
7/8	30	53.8 (推計値)



③ 令和6/7年及び令和7/8年の1人当たり消費量（推計値）に令和6年及び令和7年の人口（推計値）を乗じて需要見通しを算出

	6/7年	7/8年
1人当たり消費量(推計値) ①	54.4kg	53.8kg
	6年	7年
人口(推計値) ②	123,780千人	123,198千人
	6/7年	7/8年
需要見通し ①×②	673.7万トン	663.4万トン

注1：人口（推計値）は、令和6年においては「人口推計（総務省、令和6年9月公表）」の総人口（令和6年9月1日現在（概算値）。以下「令和6年9月現在人口」という。）、令和7年においては令和6年9月現在人口に「日本の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所、令和5年4月公表）」の令和6年10月1日から令和7年10月1日までの総人口（出生中位・死亡中位推計）の減少率を乗じて算出した値。

注2：図中の需要見通しは、1人当たり消費量（推計値）の実数に、人口（推計値）の実数を乗じて算出した値のため、図中の1人当たり消費量（推計値）（小数点第2位を四捨五入）に人口（推計値）（小数点第1位を四捨五入）を乗じて算出した値とは一致しない。

(3) 令和6/7年及び令和7/8年の需給見通し

- 令和6/7年の需給見通しについては、需要量を前記で算出した674万トンと設定。この結果、令和7年6月末民間在庫量は162万トンと見通されます。
- 令和7/8年の需給見通しについては、需要量を前記で算出した663万トンと設定。令和7年産主食用米等の生産量の見通しは、令和6年産の生産実績（令和6年9月25日現在の令和6年産水稻の予想収穫量（主食用））と同水準の683万トンと設定。この結果、令和8年6月末民間在庫量は182万トンと見通されます。

令和6/7年及び令和7/8年の主食用米等の需給見通し

(単位：万トン)

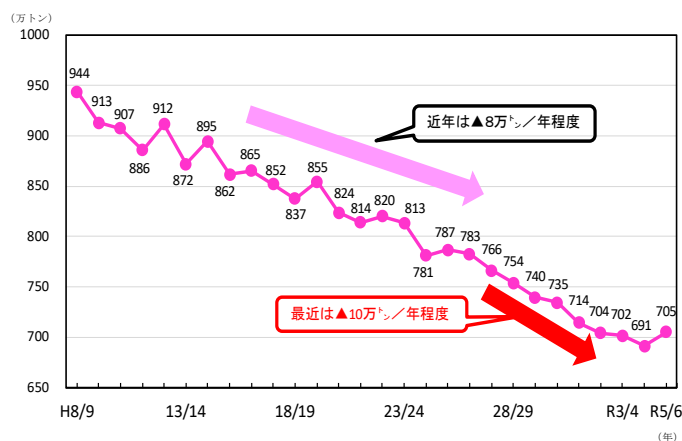
令和6/7年	令和6年6月末民間在庫量	A	153
	令和6年産主食用米等生産量	B	683
	令和6/7年主食用米等供給量計	$C = A + B$	836
	令和6/7年主食用米等需要量	D	674
	令和7年6月末民間在庫量	$E = C - D$	162

令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	E	162
	令和7年産主食用米等生産量	F	683
	令和7/8年主食用米等供給量計	$G = E + F$	846
	令和7/8年主食用米等需要量	H	663
	令和8年6月末民間在庫量	$I = G - H$	182

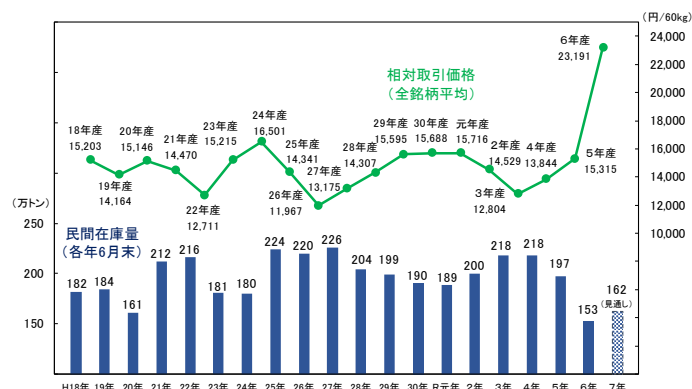
注1：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。

注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 主食用米の需要量の推移



(参考) 相対取引価格と民間在庫量



注：相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（令和6年産は6年10月の速報値）の通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

キ 令和6年産水陸稲の収穫量

— 全国の10a当たり収量は540kgの見込み —

【調査結果の概要】

- 1 令和6年産水稻の作付面積（子実用）は135万9,000ha（前年産に比べ1万5,000ha増加）となった。うち主食用作付面積は125万9,000ha（同1万7,000ha増加）となった。
- 2 水稻の全国の10a当たり収量は540kgと見込まれる。
これは、全国的にはおおむね天候に恵まれたためである。なお、一部地域で5月下旬から6月上旬にかけての低温や6月下旬から7月中旬にかけての断続的な日照不足、8月以降の記録的な高温等の影響により収量が低下した。
- 3 以上の結果、水稻の収穫量（子実用）は734万5,000t（前年産に比べ18万t増加）と見込まれ、主食用の収穫量は679万2,000t（同18万2,000t増加）と見込まれる。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は101と見込まれる。
- 5 令和6年産陸稲の作付面積（子実用）は320haで、10a当たり収量は256kgとなり、収穫量（子実用）は820tとなった。

図1 水稻の全国農業地域別10a当たり収量（1.70mmのふるい目幅ベース）



- 水稻の作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積であり、主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 陸稲の作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含まない面積である。
- 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 沖縄県については、一部収穫を終えていないため、収穫の状況によっては今後変動することがある。

◎ 累年データ

水陸稲の年次別推移（全国）

年 産	水 陸 稲 計		水 稲					作況指数
	作付面積 (子実用)	収穫量 (子実用)	作付面積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収穫量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	
	ha	t	ha	kg	t	ha	t	
平成16年産	1,701,000	8,730,000	1,697,000	514	8,721,000	…	…	98
17	1,706,000	9,074,000	1,702,000	532	9,062,000	…	…	101
18	1,688,000	8,556,000	1,684,000	507	8,546,000	…	…	96
19	1,673,000	8,714,000	1,669,000	522	8,705,000	…	…	99
20	1,627,000	8,823,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	102
21	1,624,000	8,474,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	98
22	1,628,000	8,483,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	98
23	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	101
24	1,581,000	8,523,000	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	102
25	1,599,000	8,607,000	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,575,000	8,439,000	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,506,000	7,989,000	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,479,000	8,044,000	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29	1,466,000	7,824,000	1,465,000	534	7,822,000	1,370,000	7,306,000	100
30	1,470,000	7,782,000	1,470,000	529	7,780,000	1,386,000	7,327,000	98
令和元	1,470,000	7,764,000	1,469,000	528	7,762,000	1,379,000	7,261,000	99
2	1,462,000	7,765,000	1,462,000	531	7,763,000	1,366,000	7,226,000	99
3	1,404,000	7,564,000	1,403,000	539	7,563,000	1,303,000	7,007,000	101
4	1,355,000	7,270,000	1,355,000	536	7,269,000	1,251,000	6,701,000	100
5	1,345,000	7,166,000	1,344,000	533	7,165,000	1,242,000	6,610,000	101
6 (概数値)	1,359,000	7,346,000	1,359,000	540	7,345,000	1,259,000	6,792,000	101

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。

2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

4 作況指数は、10 a 当たり年平収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、以下により算出している。

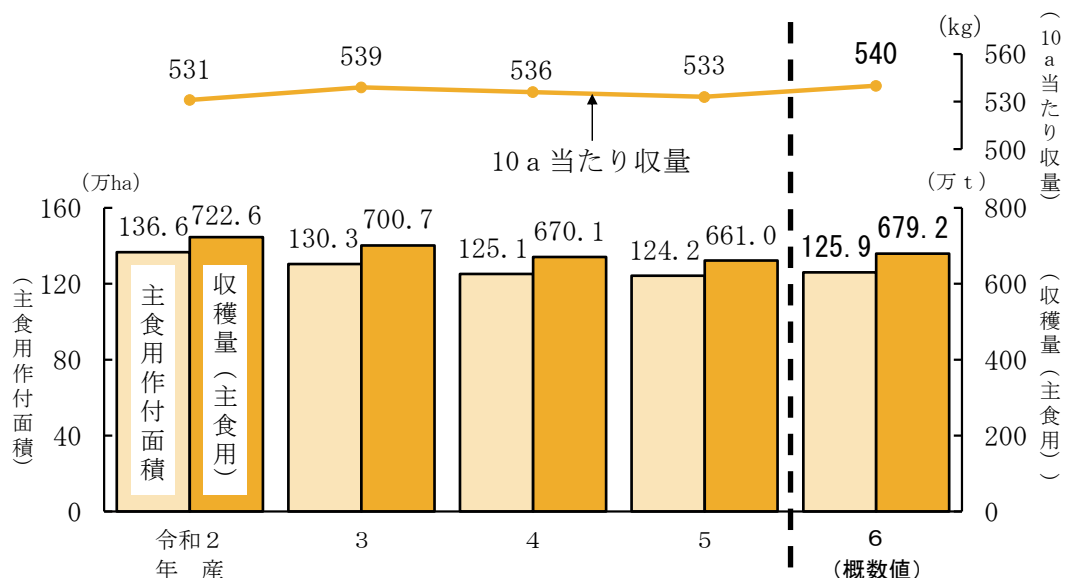
平成26年産以前 : 1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出。

平成27年産から令和元年産まで : 全国農業地域ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅で選別された玄米を基に算出。

令和2年産以降 : 都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出。

5 「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

水稻の主食用作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量（主食用）の推移（全国）



注：10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70 mm のふるい目幅で選別された玄米の重量である。

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合 45%）以上に相当するよう、ふるい目幅 1.70mm で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表 1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

単位：%							
年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
令和元年産	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
3	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
4	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
5	100.0	0.6	1.0	1.3	2.1	10.2	84.8
6（概数値）	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	11.9	82.1
平 均 値	100.0	0.7	1.3	1.8	2.7	13.9	79.6
対平均差(%)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 2.0	2.5

注：1 ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である（以下同じ。）。

2 平均値は、直近 5 か年の重量割合の平均である。

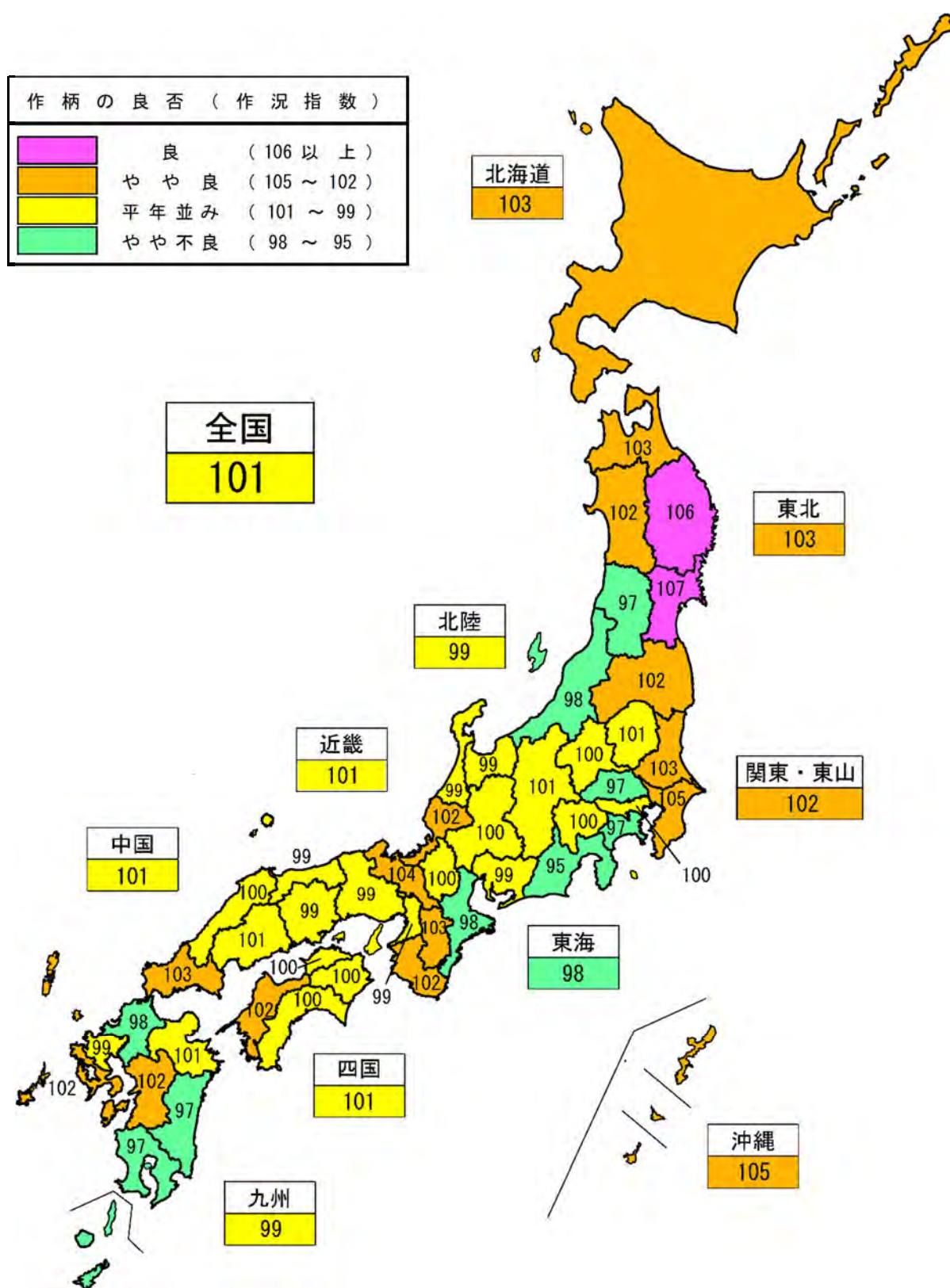
表 2 ふるい目幅別 10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（全国）

年 産		単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
令和元年産	10 a 当たり収量	kg	528	524	517	507	492	411
	収穫量（子実用）	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2	10 a 当たり収量	kg	531	527	520	510	494	418
	収穫量（子実用）	t	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
3	10 a 当たり収量	kg	539	535	527	517	502	423
	収穫量（子実用）	t	7,563,000	7,502,000	7,397,000	7,260,000	7,049,000	5,937,000
4	10 a 当たり収量	kg	536	531	523	513	497	418
	収穫量（子実用）	t	7,269,000	7,204,000	7,095,000	6,956,000	6,746,000	5,663,000
5	10 a 当たり収量	kg	533	530	524	518	506	452
	収穫量（子実用）	t	7,165,000	7,122,000	7,050,000	6,957,000	6,807,000	6,076,000
6 （概数値）	10 a 当たり収量	kg	540	536	530	522	508	443
	収穫量（子実用）	t	7,345,000	7,294,000	7,205,000	7,095,000	6,904,000	6,030,000
対前年比 （収穫量（子実用））		%	103	102	102	102	101	99

注：1 ふるい目幅別 10 a 当たり収量とは、全国の 10 a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、全国の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 水稻の全国農業地域・都道府県別作況指数
(農家等が使用しているふりい目幅ベース)



注：1 作況指数は、10a 当たり平年収量に対する 10a 当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去 5 か年に農家等が使用したふりい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

【調査結果】

1 作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量

(1) 水 稲

ア 令和 6 年産水稻の作付面積（子実用）は135万9,000ha（前年産に比べ 1 万 5,000ha増加）となった。

また、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は125万9,000ha（同 1 万7,000ha増加）となった（表 3 参照）。

イ 全国の10 a 当たり収量は540kg（平年に比べ+ 3 kg）と見込まれる。

これを地域別にみると、以下のとおりである。

北海道、東北及び関東・東山においては、5 月以降、おおむね天候に恵まれ、全もみ数が平年以上に確保されたこと等から、北海道は592kg（平年に比べ+ 21kg）、東北は583kg（同+ 12kg）、関東・東山は545kg（同+ 6 kg）となった。

北陸においては、一部地域で 5 月下旬から 6 月上旬にかけての低温や 9 月下旬の大雨等の影響があったため、535kg（平年に比べ△ 3 kg）となった。

東海、近畿、中国、四国及び九州においては、一部地域で 6 月下旬から 7 月中旬にかけての断続的な日照不足や 8 月以降の記録的な高温等の影響があったため、東海は489kg（平年に比べ△ 11kg）、近畿は507kg（同△ 2 kg）、中国は512kg（同△ 7 kg）、四国は481kg（同△ 1 kg）、九州は489kg（同△ 11kg）となった。

沖縄県は、台風の影響もなく、おおむね天候に恵まれたことから、328kg（平年に比べ+ 16kg）が見込まれる。

ウ 以上の結果、収穫量（子実用）は734万5,000 t（前年産に比べ18万 t 増加）と見込まれる。このうち、主食用作付面積に10 a 当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、679万2,000 t（同18万2,000 t 増加）と見込まれる（表 3 参照）。

(2) 陸 稲

令和 6 年産陸稲の作付面積（子実用）は320ha（前年産に比べ81ha減少）で、10 a 当たり収量は256kg（同48kg増加）となり、収穫量（子実用）は820 t（同15 t 減少）となった。

表3 令和6年産水稻の作付面積及び収穫量（全国農業地域別）

全 国 農 業 地 域	作付面積（子実用）			10 a 当たり収量			収穫量（子実用）			主食用 作付面積	収穫量 （主食用）	作況指数
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	平年 との比較		実 数 ③＝①×②	前年産との比較				
		対差	対比		対差	対差		対差	対比			
	ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,359,000	15,000	101	540	3	7	7,345,000	180,000	103	1,259,000	6,792,000	101
北 海 道	95,000	1,700	102	592	21	13	562,400	22,200	104	83,700	495,500	103
東 北	358,400	9,300	103	583	12	14	2,091,000	103,000	105	319,800	1,865,000	103
北 陸	197,000 △	700	100	535 △	3	22	1,053,000	38,000	104	175,800	938,800	99
関東・東山	248,000	8,500	104	545	6	1	1,352,000	50,000	104	235,000	1,282,000	102
東 海	86,600 △	200	100	489 △	11	△ 5	423,100 △	5,600	99	83,400	407,500	98
近 畿	94,000 △	700	99	507 △	2	4	476,900	800	100	90,600	459,600	101
中 国	93,100 △	900	99	512 △	7	△ 2	476,900 △	6,200	99	90,400	463,000	101
四 国	42,700 △	400	99	481 △	1	△ 1	205,200 △	2,500	99	42,300	203,600	101
九 州	143,700 △	1,600	99	489 △	11	△ 8	703,000 △	19,000	97	138,200	676,000	99
沖 縄	599	23	104	328	16	7	1,960	110	106	557	1,830	105

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。

2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 10 a 当たり収量の平年との比較は、10 a 当たり平年収量との比較である。

4 収穫量については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

5 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

6 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。

2 水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（子実用）等

令和6年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況は、当年産で最も多くの農家が使用していたふるい目幅である1.85mm以上の玄米の重量割合は96.6%と、直近5か年平均値と比べて0.4ポイント高くなっている。

表4 令和6年産ふるい目幅別重量分布状況

全 国 農 業 地 域	区 分	計	単位：%					
			1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
全 国	重量割合	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	11.9	82.1
	平 均 値	100.0	0.7	1.3	1.8	2.7	13.9	79.6
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 2.0	2.5
北 海 道	重量割合	100.0	0.6	1.0	1.2	2.2	10.7	84.3
	平 均 値	100.0	0.6	0.9	1.2	1.9	10.3	85.1
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.4	△ 0.8
東 北	重量割合	100.0	0.5	1.1	1.3	2.2	10.5	84.4
	平 均 値	100.0	0.5	1.1	1.4	2.2	11.9	82.9
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	△ 1.4	1.5
北 陸	重量割合	100.0	0.9	1.3	1.5	2.8	13.2	80.3
	平 均 値	100.0	0.6	1.0	1.3	2.3	12.7	82.1
	対平均差(ポイント)	0.0	0.3	0.3	0.2	0.5	0.5	△ 1.8
関東・東山	重量割合	100.0	0.8	1.2	1.6	2.6	13.5	80.3
	平 均 値	100.0	0.8	1.3	1.8	2.9	16.8	76.4
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3	△ 3.3	3.9
東 海	重量割合	100.0	0.6	1.1	1.5	2.1	8.9	85.8
	平 均 値	100.0	0.8	1.2	1.7	2.3	10.5	83.5
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 1.6	2.3
近 畿	重量割合	100.0	0.8	1.1	1.4	2.3	10.1	84.3
	平 均 値	100.0	0.9	1.5	1.9	2.7	13.2	79.8
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.4	△ 3.1	4.5
中 国	重量割合	100.0	0.5	0.9	1.1	1.8	8.5	87.2
	平 均 値	100.0	0.9	1.5	2.0	2.7	13.8	79.1
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.9	△ 0.9	△ 5.3	8.1
四 国	重量割合	100.0	0.8	1.1	1.5	2.4	11.6	82.6
	平 均 値	100.0	1.2	1.9	2.5	3.4	16.3	74.7
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 4.7	7.9
九 州	重量割合	100.0	1.1	2.0	2.5	4.4	17.7	72.3
	平 均 値	100.0	1.3	2.5	3.1	4.7	21.1	67.3
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.3	△ 3.4	5.0
沖 縄	重量割合	100.0	0.6	1.1	1.7	3.1	14.5	79.0
	平 均 値	100.0	0.7	1.4	1.8	2.8	13.8	79.5
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	0.3	0.7	△ 0.5

注：平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

表5 令和6年産ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）

全 国 農業地域	区 分	単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	540 7,345,000	536 7,294,000	530 7,205,000	522 7,095,000	508 6,904,000	443 6,030,000
北 海 道	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	592 562,400	588 559,000	583 553,400	575 546,700	562 534,300	499 474,100
東 北	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	583 2,091,000	580 2,081,000	574 2,058,000	566 2,030,000	553 1,984,000	492 1,765,000
北 陸	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	535 1,053,000	530 1,044,000	523 1,030,000	515 1,014,000	500 984,600	430 845,600
関東・東山	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	545 1,352,000	541 1,341,000	534 1,325,000	525 1,303,000	511 1,268,000	438 1,086,000
東 海	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	489 423,100	486 420,600	481 415,900	473 409,600	463 400,700	420 363,000
近 畿	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	507 476,900	503 473,100	497 467,800	490 461,200	479 450,200	427 402,000
中 国	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	512 476,900	509 474,500	505 470,200	499 465,000	490 456,400	446 415,900
四 国	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	481 205,200	477 203,600	472 201,300	465 198,200	453 193,300	397 169,500
九 州	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	489 703,000	484 695,300	474 681,200	462 663,600	440 632,700	354 508,300
沖 縄	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	328 1,960	326 1,950	322 1,930	317 1,890	307 1,830	259 1,550

注：1 ふるい目幅別10a 当たり収量とは、全国又は全国農業地域別の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。
2 ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、全国又は全国農業地域別の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表6 令和6年産水稻における農家等が使用したふるい目幅の分布
【令和6年産水稻作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

全 国 農業地域	計	単位：％					
		1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
全 国	100.0	0.1	1.2	23.2	38.9	36.0	0.6
北 海 道	100.0	0.2	－	0.8	21.0	75.7	2.3
東 北	100.0	－	－	0.4	16.3	83.2	0.1
北 陸	100.0	－	－	1.0	32.6	65.3	1.1
関東・東山	100.0	0.3	3.3	41.2	53.3	1.7	0.2
東 海	100.0	0.3	0.6	23.6	58.1	17.1	0.3
近 畿	100.0	0.1	3.6	41.2	33.4	19.3	2.4
中 国	100.0	－	0.4	7.2	69.0	22.6	0.8
四 国	100.0	0.2	2.5	70.4	26.4	0.5	－
九 州	100.0	0.1	1.0	44.7	44.5	9.7	－
沖 縄	100.0	－	25.0	75.0	－	－	－

注：農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稻作況標本（基準）筆農家が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

表7 令和6年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況

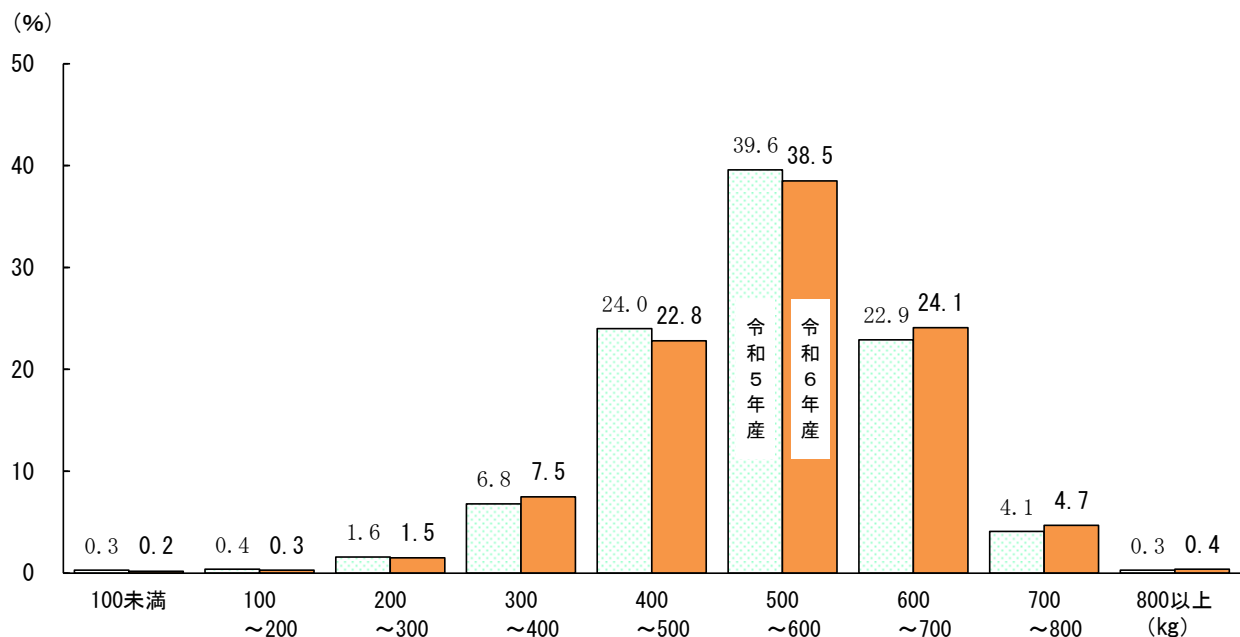
単位：％

全 国 農業地域	区 分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
全 国	筆数割合	100.0	0.2	0.3	1.5	7.5	22.8	38.5	24.1	4.7	0.4
	前 年 値	100.0	0.3	0.4	1.6	6.8	24.0	39.6	22.9	4.1	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.7	△ 1.2	△ 1.1	1.2	0.6	0.1
北 海 道	筆数割合	100.0	—	—	—	1.8	9.0	39.6	39.6	9.8	0.2
	前 年 値	100.0	—	—	0.3	1.0	9.8	45.0	38.8	4.8	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	—	—	△ 0.3	0.8	△ 0.8	△ 5.4	0.8	5.0	△ 0.1
東 北	筆数割合	100.0	0.1	0.1	1.0	2.0	9.5	35.2	41.1	10.4	0.6
	前 年 値	100.0	—	0.1	0.5	3.0	13.4	38.9	35.1	8.5	0.5
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	0.5	△ 1.0	△ 3.9	△ 3.7	6.0	1.9	0.1
北 陸	筆数割合	100.0	—	0.2	1.0	4.7	20.7	46.7	25.3	1.4	—
	前 年 値	100.0	0.4	1.2	2.0	6.8	26.4	39.0	21.2	3.0	—
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 1.0	△ 1.0	△ 2.1	△ 5.7	7.7	4.1	△ 1.6	—
関東・東山	筆数割合	100.0	—	0.3	0.8	5.7	20.4	39.2	26.0	6.9	0.7
	前 年 値	100.0	0.1	—	0.8	5.2	22.0	39.4	25.2	6.7	0.6
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.3	0.0	0.5	△ 1.6	△ 0.2	0.8	0.2	0.1
東 海	筆数割合	100.0	—	0.5	1.7	13.0	34.7	35.7	13.0	1.4	—
	前 年 値	100.0	0.1	0.9	2.6	8.8	32.2	37.9	16.2	1.3	—
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.9	4.2	2.5	△ 2.2	△ 3.2	0.1	—
近 畿	筆数割合	100.0	0.1	0.4	1.5	9.1	28.0	43.5	14.8	2.1	0.5
	前 年 値	100.0	0.2	0.2	2.2	8.3	30.6	42.6	14.2	1.7	—
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.2	△ 0.7	0.8	△ 2.6	0.9	0.6	0.4	0.5
中 国	筆数割合	100.0	0.7	1.0	4.0	10.5	22.2	35.0	21.0	4.8	0.8
	前 年 値	100.0	0.3	0.4	1.9	9.1	27.3	37.7	19.5	3.7	0.1
	対前年差(ポイント)	0.0	0.4	0.6	2.1	1.4	△ 5.1	△ 2.7	1.5	1.1	0.7
四 国	筆数割合	100.0	—	0.4	2.7	15.3	36.3	32.4	12.7	0.2	—
	前 年 値	100.0	0.5	0.7	3.6	13.8	33.3	35.8	11.0	1.0	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.9	1.5	3.0	△ 3.4	1.7	△ 0.8	△ 0.3
九 州	筆数割合	100.0	0.5	0.3	1.9	11.9	34.7	38.1	11.6	0.9	0.1
	前 年 値	100.0	1.0	0.4	2.5	9.4	30.0	40.8	15.2	0.6	0.1
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.6	2.5	4.7	△ 2.7	△ 3.6	0.3	0.0

注：1 10a当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

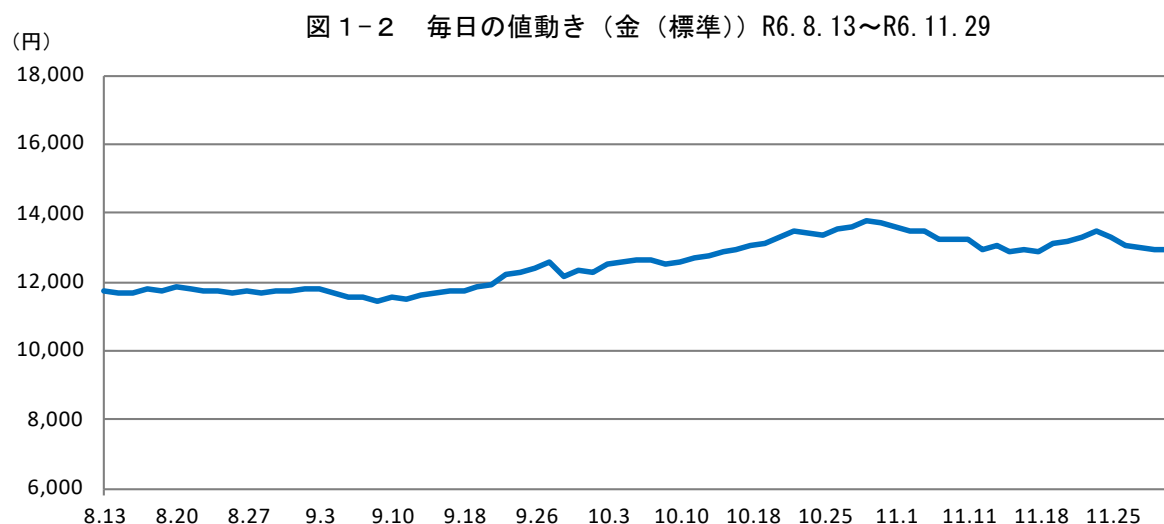
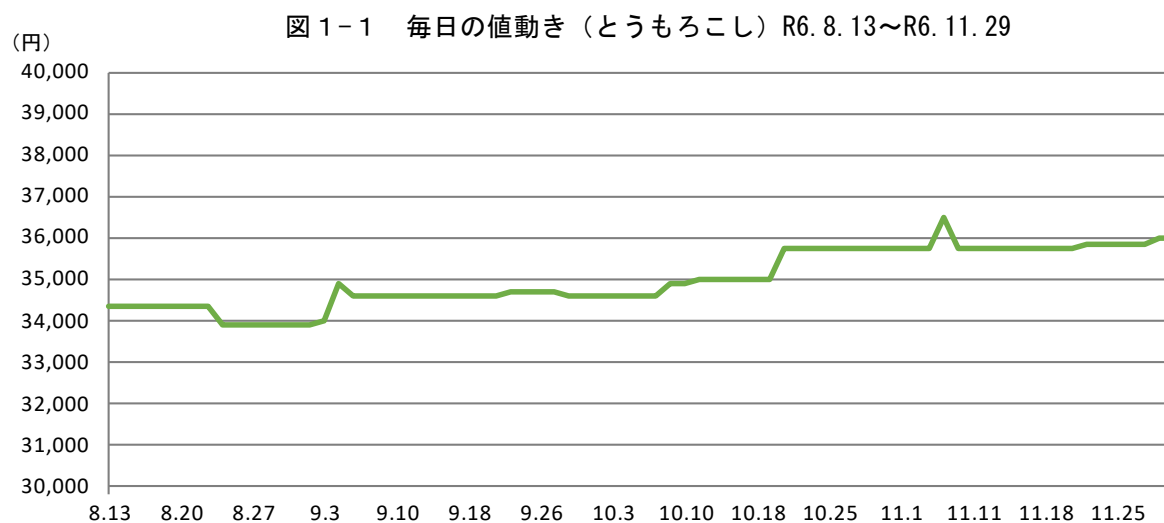
2 沖縄については、作況標本筆を設置していないことから、調査結果を表記していない。

図3 令和6年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（全国）



(2) とうもろこし及び金の動向（大阪取引所）

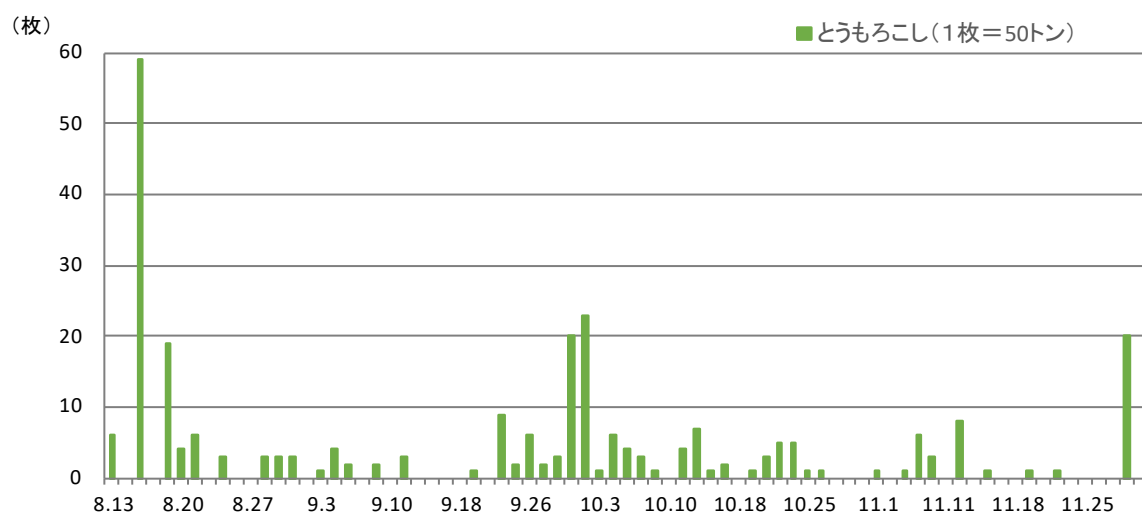
ア 取引価格



- 注： 1 令和 6 年 8 月 13 日から令和 6 年 11 月 29 日までの期先限月の清算数値（帳入値）。
 2 大阪取引所 H P 商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。
 3 価格はとうもろこしは 1 トン、金（標準）は 1 g。

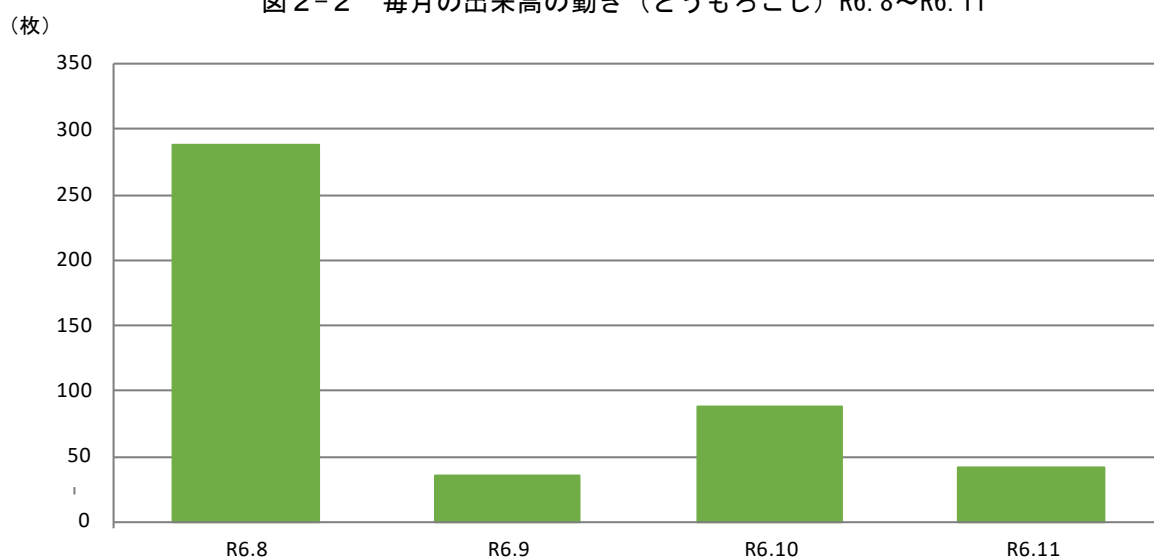
イ 出来高

図 2-1 毎日の出来高の動き（とうもろこし）R6. 8. 13～R6. 11. 29



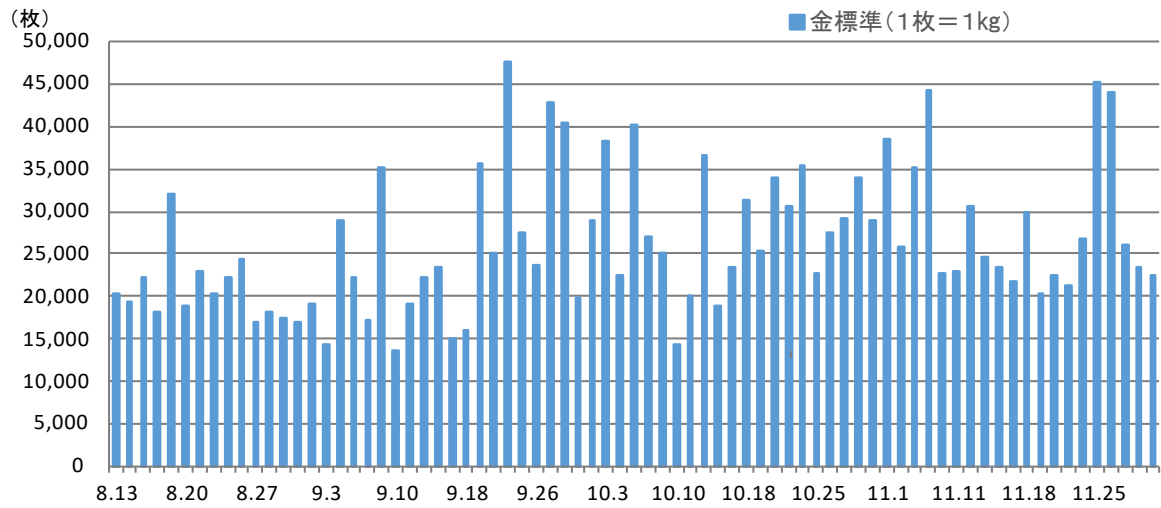
注： 1 令和 6 年 8 月 13 日から令和 6 年 11 月 29 日までのとうもろこしの毎日の出来高。
 2 大阪取引所 H P 商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。

図 2-2 毎月の出来高の動き（とうもろこし）R6. 8～R6. 11



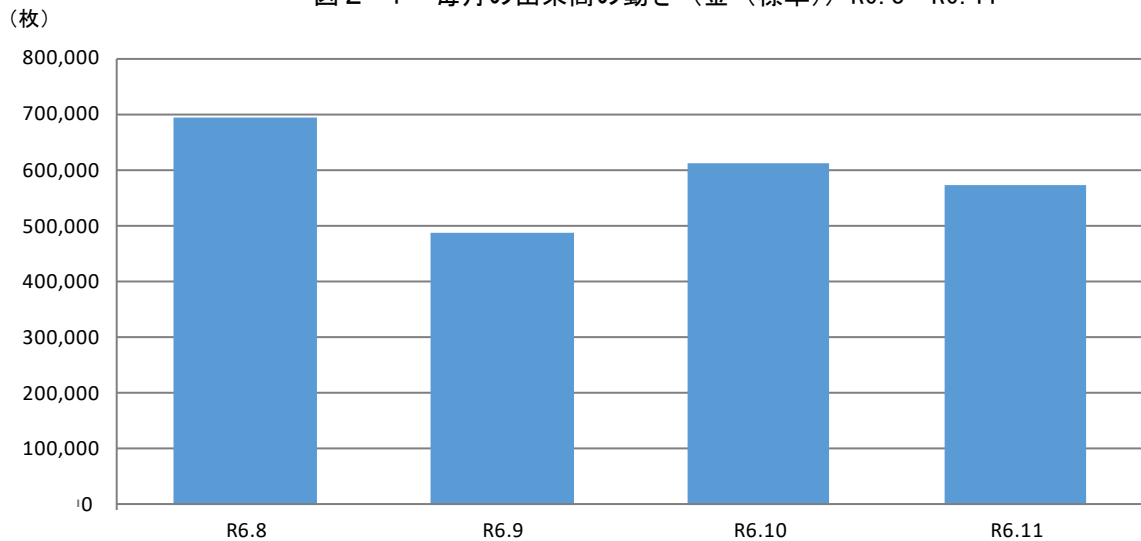
注： 1 令和 6 年 8 月から令和 6 年 11 月までの月間出来高合計。
 2 大阪取引所 H P 商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。

図 2-3 毎日の出来高の動き（金（標準））R6. 8. 13～R6. 11. 29



注： 1 令和 6 年 8 月 13 日から令和 6 年 11 月 29 日までの金（標準）の毎日の出来高。
 2 大阪取引所 H P 商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。

図 2-4 毎月の出来高の動き（金（標準））R6. 8～R6. 11



注： 1 令和 6 年 8 月から令和 6 年 11 月までの金標準の月間出来高合計。
 2 大阪取引所 H P 商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。

ウ 取組高

図3-1 取組高（とうもろこし）R6.8～R6.11

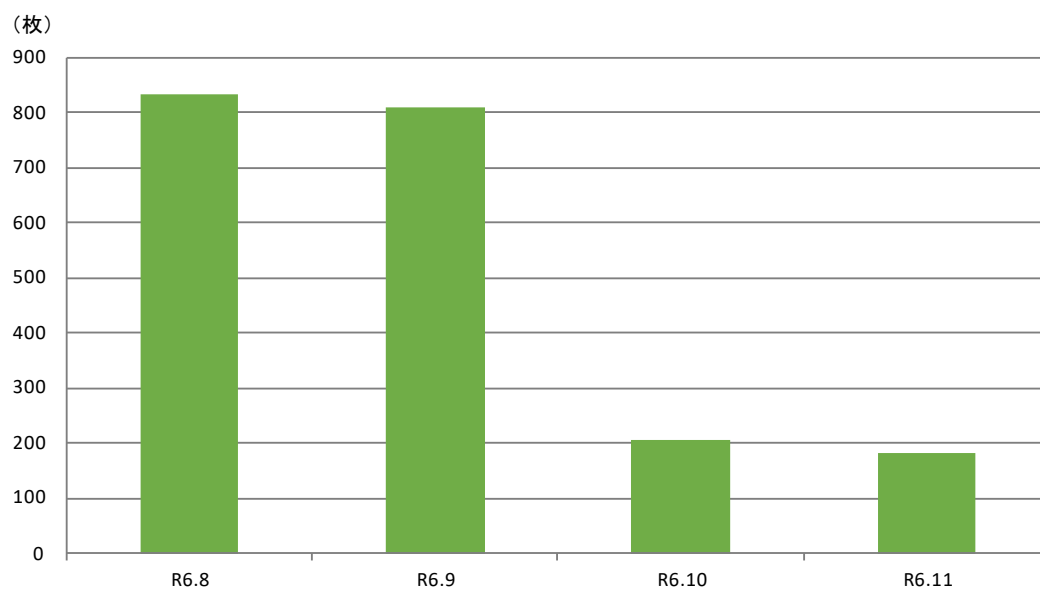
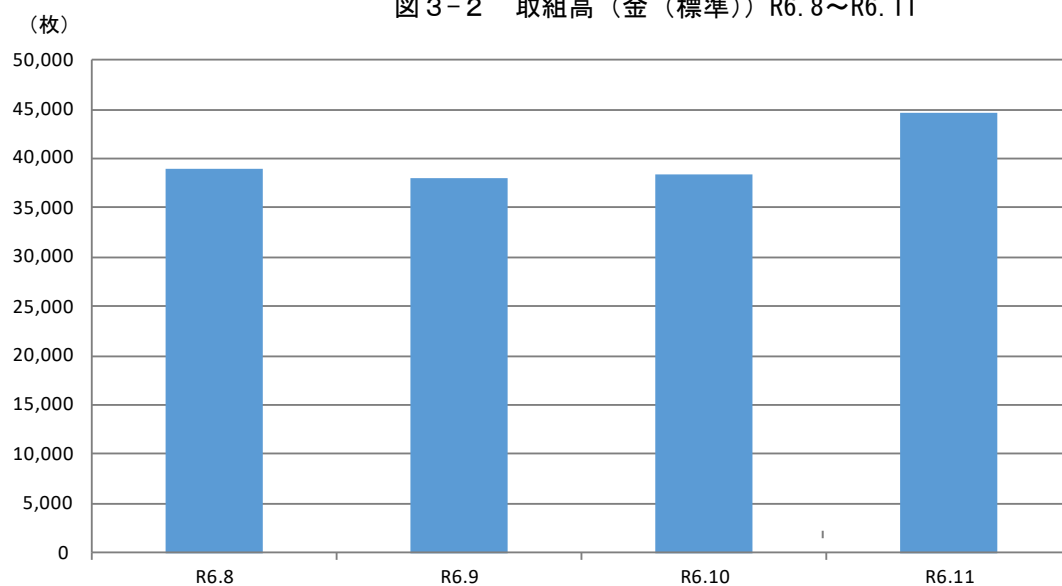


図3-2 取組高（金（標準））R6.8～R6.11



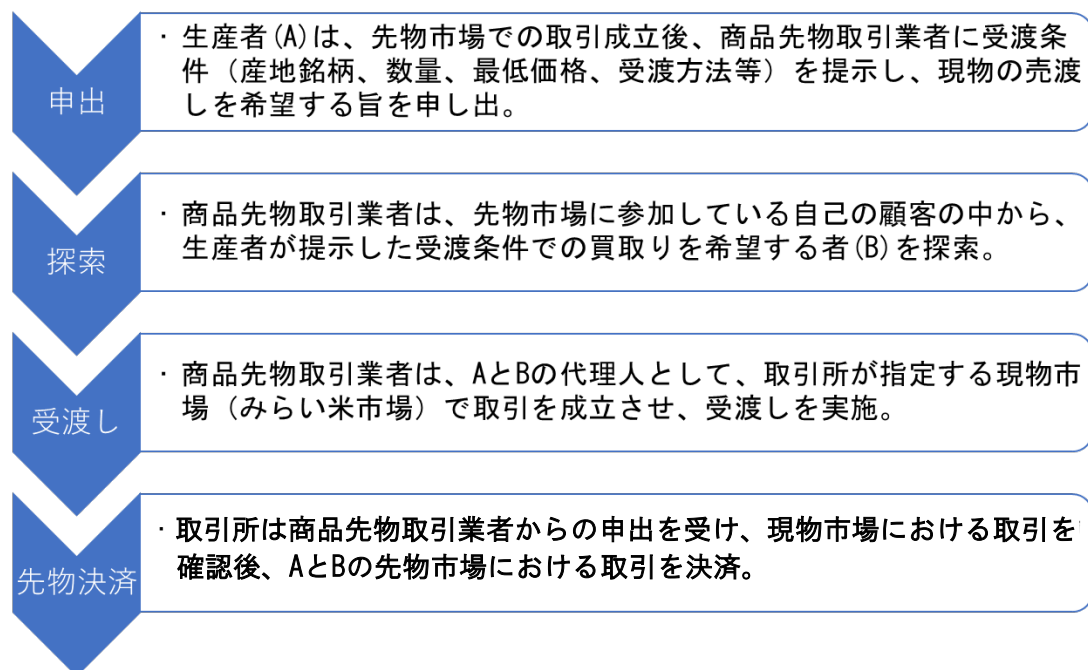
- 注： 1 令和6年8月から令和6年11月までの各月末時点での取組高合計。
 2 大阪取引所HP商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。
 3 取組高1枚当たりの取引単位は、とうもろこしは50トン、金（標準）は1kg。

3 参考資料

(1) 現物市場と先物市場（堂島取引所）との連携について

現物の受渡しを希望する当業者は、先物市場（堂島取引所）での取引成立後、商品先物取引業者を通じて堂島取引所が指定する現物市場（みらい米市場）で売買を行うことにより、現物の受渡しを行うとともに、先物市場での取引を結了させることができる（なお、対応できる商品先物取引業者については堂島取引所に御照会ください。）。

ア 生産者が現物市場での受渡しを行う場合の流れ



イ みらい米市場の概要

趣旨	・ 産地や品種・銘柄だけでない米の品質や付加価値を評価して取引できるマーケットを創出することを目的として開設（R5 年 10 月）
仕組み	・ 登録を受けた生産者、集荷業者、卸売業者等が参加者となってオンラインで ① オークション方式 ② 買い手からのオーダー方式 で米の売買を実施
登録要件	・ 販売者の登録要件 ① 米の生産者、ならびに生産者グループ、協同組合、企業等で、米の生産を行っていることが当社の要求する客観的な資料等で確認できる者 ② 業務を安定的に行う体制が整っていること ③ 主要食糧の需給および価格の安定に関する法律（以下「食糧法」という。）第 47 条の規定に基づき米穀の出荷または販売の事業を行おうとする者として農林水産大臣に届出を行い受理された者 ④ その他、米の販売事業者として適正であると当社が判断した者 ・ 購買者の登録要件 ① 食糧法第 47 条の規定に基づき米穀の出荷または販売の事業を行おうとする者として農林水産大臣に届出を行い受理された者 ② 業務を安定的に行う体制が整っていること ③ 年間 10 トン以上の米穀の取扱いがあり、与信等によって信頼性が確認された者 ④ その他、米の購買事業者として適正であると当社が判断した者
利用料(売り手のみ、買い手無料)	売買数量が 10 トン未満の場合、売買代金(税込)の 1 % (税別) 売買数量が 10 トン以上の場合、売買代金(税込)の 0.5 % (税別)
取引単位	販売者が設定可能（30 kg/袋～）
問合わせ先	電話番号：080-9438-2850 メールアドレス：support@rice-market.com URL：https://rice-market.jp/what-is-rmt

(2) 米先物取引に係るこれまでの主な経過

平成17年12月9日	・東京穀物商品取引所が米の試験上場を認可申請
平成17年12月16日	・関西商品取引所が米の試験上場を認可申請
平成18年4月12日	・米の試験上場を不認可
平成23年3月8日	・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の試験上場を認可申請
平成23年7月1日	・米の試験上場を認可
平成23年8月8日	・取引開始
平成24年5月29日	・東京穀物商品取引所が農産物市場の移管の方針を公表 平成25年2月を目途に、大豆等を東京工業品取引所に、米穀を関西商品取引所に移管
平成24年12月14日	・関西商品取引所から大阪堂島商品取引所への名称変更を認可（平成25年2月12日に変更）
平成25年2月12日	・国内の3つの商品取引所を2つの商品取引所に再編 東京穀物商品取引所は2月8日に農産物市場の立会を停止し、平成24年5月公表の再編方針に基づき、大豆等を東京商品取引所（旧東京工業品取引所）に、米穀を大阪堂島商品取引所（旧関西商品取引所）に移管
平成25年7月8日	・大阪堂島商品取引所が試験上場の2年間の延長を申請
平成25年8月7日	・米の試験上場の2年間の延長を認可
平成26年4月21日	・大阪堂島商品取引所が東京コメ（平成26年10月限以降）について、受渡供用品を農産物検査法に基づく検査規格水稻うるち玄米合格品の全てに拡大するとともに、取引単位を受渡単位と同じ1枚12トンに拡大
平成27年4月13日	・大阪堂島商品取引所が大阪コメ（平成27年10月限以降）について、標準品を石川及び福井コシヒカリから滋賀及び三重コシヒカリに変更
平成27年4月21日	・大阪堂島商品取引所が東京コメ（平成27年10月限以降）について、標準品を茨城、栃木及び千葉コシヒカリから栃木あさひの夢、群馬あさひの夢、埼玉彩のかがやき、千葉ふさおとめ及び千葉ふさがねに変更
平成27年7月21日	・大阪堂島商品取引所が試験上場の2年間の再延長を申請
平成27年8月6日	・米の試験上場の2年間の再延長を認可
平成28年10月21日	・大阪堂島商品取引所が標準品に新潟コシヒカリを追加
平成29年7月11日	・大阪堂島商品取引所が本上場を申請
平成29年8月4日	・大阪堂島商品取引所が本上場の申請を取り下げ、試験上場の2年間の再々延長を申請
平成29年8月7日	・米の試験上場の2年間の再々延長を認可
平成30年10月15日	・大阪堂島商品取引所が取引方法を板寄せ方式からザラバ方式に変更
平成30年10月22日	・大阪堂島商品取引所が標準品を大阪コメから秋田こまちに変更
平成31年3月8日	・大阪コメの取引を終了
令和元年7月16日	・大阪堂島商品取引所が本上場を申請
令和元年7月29日	・大阪堂島商品取引所が本上場の申請を取り下げ、試験上場の2年間の再々延長を申請
令和元年8月7日	・米の試験上場の2年間の再々々延長を認可
令和2年4月21日	・大阪堂島商品取引所が秋田こま치의取引単位を1.02トンに小口化し、標準品に宮城ひとめぼれを追加
令和3年2月19日	・取引単位が12.24トンの秋田こま치의取引を終了

令和3年3月19日	・ 会員制組織から株式会社への大阪堂島商品取引所の組織変更を認可（令和3年4月1日に変更）
令和3年3月22日	・ 大阪堂島商品取引所が標準品に新潟コシヒカリEXWを追加
令和3年7月16日	・ 大阪堂島商品取引所が本上場を申請
令和3年8月6日	・ 米の本上場を不認可
令和3年8月7日	・ 米の試験上場期間の終了
令和3年8月10日	・ 大阪堂島商品取引所から堂島取引所へ名称変更
令和6年2月21日	・ 堂島取引所が米穀指数の本上場を申請
令和6年6月21日	・ 米穀指数の本上場を認可
令和6年8月13日	・ 米穀指数の取引開始

【商品先物取引のリスクについて】

商品先物取引は、相場の変動幅が小さくても大きな額の利益又は損失が生ずるハイリスク・ハイリターンの取引であり、また、商品先物市場の価格変動が予測に反して推移した場合には損失が発生する可能性や預託した取引証拠金等の全額を上回る損失が発生するおそれがあります。

商品先物取引を行う場合には、これらの点を含め、取引の仕組みやリスクについて十分に理解した上で、許可を受けた商品先物取引業者又は登録を受けた商品先物取引仲介業者を通じて行っていただきますようご注意ください。

この他、商品先物取引に関する注意点等については、農林水産省のホームページなどをご覧ください。

【農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部 商品取引グループ HP】

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/index.html>

【堂島取引所 HP】

<http://www.odex.co.jp/index.html>

【日本取引所グループ HP（大阪取引所・東京商品取引所）】

<https://www.jpx.co.jp/index.html>

【日本商品先物取引協会 HP】

<https://www.nisshokyo.or.jp/index.html>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

農林水産省大臣官房新事業・食品産業部
商品取引グループ

代表：03-3502-8111（内線 4177）

ダイヤルイン：03-6744-1860